

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（「高等学校」）

1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

（対象施設）

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	鹿角高等学校	鹿角市	存続	集約化（主）を実施
2	十和田高等学校	鹿角市	廃止	除却処分を実施
3	小坂高等学校	小坂町	廃止	除却処分を実施
4	大館鳳鳴高等学校	大館市	存続	大規模修繕を実施
5	大館鳳鳴高等学校（定時制）	大館市	存続	大規模修繕を実施
6	大館国際情報学院中学校・高等学校	大館市	存続	大規模修繕を実施
7	大館桂桜高等学校	大館市	存続	機能維持のための修繕を実施
8	秋田北鷹高等学校	北秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
9	能代高等学校	能代市	存続	建替え又は大規模修繕
10	能代高等学校（定時制）	能代市	存続	大規模修繕を実施
11	能代松陽高等学校	能代市	存続	機能維持のための修繕を実施
12	能代科学技術高等学校	能代市	存続	機能維持のための修繕を実施
13	旧能代西高等学校 校舎	能代市	廃止	除却処分を実施
14	五城目高等学校	五城目町	存続	大規模修繕を実施
15	男鹿海洋高等学校	男鹿市	存続	集約化（主）を実施
16	男鹿工業高等学校	男鹿市	存続	集約化（主）を実施
17	金足農業高等学校	秋田市	存続	建替えを実施
18	秋田西高等学校	潟上市	存続	大規模修繕を実施
19	秋田高等学校	秋田市	存続	大規模修繕を実施
20	秋田北高等学校	秋田市	存続	大規模修繕を実施
21	秋田南高等学校・秋田南高等学校中等部	秋田市	存続	大規模修繕を実施
22	秋田中央高等学校	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
23	秋田工業高等学校	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
24	秋田明德館高等学校	秋田市	存続	大規模修繕を実施
25	新屋高等学校	秋田市	存続	大規模修繕を実施
26	本荘高等学校	由利本荘市	存続	大規模修繕を実施
27	由利高等学校	由利本荘市	存続	大規模修繕を実施
28	由利工業高等学校	由利本荘市	存続	大規模修繕を実施
29	矢島高等学校	由利本荘市	存続	大規模修繕を実施

30	西目高等学校	由利本荘市	存続	大規模修繕を実施
31	仁賀保高等学校	にかほ市	存続	大規模修繕を実施
32	西仙北高等学校	大仙市	存続	大規模修繕を実施
33	大曲農業高等学校	大仙市	存続	機能維持のための修繕を実施
34	大曲農業高等学校太田分校	大仙市	存続	大規模修繕を実施
35	大曲高等学校	大仙市	存続	建替えを実施
36	大曲工業高等学校	大仙市	存続	大規模修繕を実施
37	角館高等学校	仙北市	存続	機能維持のための修繕を実施
38	角館高等学校（定時制）	仙北市	存続	機能維持のための修繕を実施
39	六郷高等学校	美郷町	存続	大規模修繕を実施
40	横手高等学校	横手市	存続	建替えを実施
41	横手高等学校（定時制）	横手市	存続	機能維持のための修繕を実施
42	横手城南高等学校	横手市	存続	大規模修繕を実施
43	横手清陵学院中学校・高等学校	横手市	存続	大規模修繕を実施
44	平成高等学校	横手市	存続	集約化（主）を実施
45	雄物川高等学校	横手市	存続	集約化（主）を実施
46	増田高等学校	横手市	存続	集約化（主）を実施
47	湯沢高等学校	湯沢市	存続	建替えを実施
48	旧湯沢高等学校稲川分校体育館	湯沢市	廃止	除却処分を実施
49	湯沢翔北高等学校	湯沢市	存続	機能維持のための修繕を実施
50	湯沢翔北高等学校雄勝校	湯沢市	存続	大規模修繕を実施
51	羽後高等学校	羽後町	存続	大規模修繕を実施

2 施設管理に関する優先順位の方針

- ・統合が予定されている学校については、地元市町村など、関係者との調整を進め、準備が整ったところから順次事業に着手する。
- ・単独改築を予定している学校については、校舎の老朽度合いなどを総合的に勘案しながら年次的に進めていく。
- ・大規模修繕については、危険度等の優先順位を見定めながら進めていく。
- ・十和田高校、小坂高校、旧能代西高校校舎及び旧湯沢高等学校稲川分校体育館については、除却処分を検討する。

1	施設名	鹿角高等学校
---	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	鹿角高等学校	所在地	鹿角市花輪字明堂長根
施設面積	15,846.75 m ²	建設年	平成15年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	292,858,201 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	集約化（主）を実施
「基本的な方針の考え方」 地域の生徒数減少等に伴い、第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、十和田高校、小坂高校との統合について検討を行う。 令和元年度に統合校の設置場所を花輪高校とし、令和6年4月に開校することを決定した。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）において、十和田高校、小坂高校との統合について検討することとしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

現時点での課題等はない。

5 管理に関する実施方針

当面は機能維持のための修繕を定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

鹿角高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	空調設備改修	3,239	
R2	基本・実施設計	47,893	
R2	灯油式ヒートポンプエアコン修繕	1,287	
R2	灯油式ヒートポンプエアコン修繕	649	
R2	冷暖房ルームエアコン電源修繕	1,232	
R3	セミナーハウス機械室配管漏水修繕	654	
R3	トイレ洋式化	1,624	
R3	自動水栓設置	805	
R3	基本・実施設計等	240,722	
R4	施設整備	1,152,783	
R5	施設整備	2,031,221	
R6	施設整備	83,289	
	(合 計)	3,565,398	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	988	1,261	907	
運用コスト	11,713	10,900	9,652	
修繕コスト	5,300	5,900	0	
その他	0	0	0	
(合計)	18,001	18,061	10,559	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	474	471	465	

2	施設名	十和田高等学校
---	-----	---------

1 施設の概要

施設名称	十和田高等学校	所在地	鹿角市十和田毛馬内字下寄熊
施設面積	9,503.10 m ²	建設年	昭和54年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	416,795,011 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	廃止	除却処分を実施

「基本的な方針の考え方」

地域の生徒数減少等に伴い、第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、花輪高校、小坂高校との統合について検討を行う。
令和元年度に統合校の設置場所を花輪高校とし、令和6年4月に開校することを決定したことから廃校になる。施設が老朽化していることから除却処分を行う。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）において、花輪高校、小坂高校との統合について検討することとしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【令和6年3月廃校】

新たな統合校の開校後には廃校となる。

4 管理上の課題等

当施設は鹿角高校が定期的な見回り等で維持管理を行っていくが、無人施設となるため、施設の防犯・保安上の課題がある。

5 管理に関する実施方針

定期的な見回り・点検等により損傷・破損箇所の有無や劣化状況を把握し、売却・譲渡や解体まで必要な修繕措置等を行う。

6 管理に関する実施計画

十和田高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	地下タンク改修	5,429	
H30	外部改修	2,794	
R2	地上オイルタンク設置	4,466	
R2	冷房設備用電源設置修繕（普通教室4教室・8箇所）	1,584	
R3	トイレ洋式化・自動水栓設置修繕（洋式化8箇所・自動水栓8箇所）	2,497	
	(合 計)	16,770	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	602	432	610	
運用コスト	7,117	7,557	6,215	
修繕コスト	744	0	12,150	
その他	0	0	0	
(合計)	8,463	7,989	18,975	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	338	338	328	

3	施設名	小坂高等学校
---	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	小坂高等学校	所在地	鹿角郡小坂町小坂字館平
施設面積	12,906.91 m ²	建設年	昭和53年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	380,538,004 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	廃止	除却処分を実施

「基本的な方針の考え方」

地域の生徒数減少等に伴い、第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、花輪高校、小坂高校との統合について検討を行う。

令和元年度に統合校の設置場所を花輪高校とし、令和6年4月に開校することを決定したことから廃校になる。施設が老朽化していることから除却処分を行う。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）において、花輪高校、十和田高校との統合について検討することとしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【令和6年3月廃校】

新たな統合校の開校後には廃校となる。

4 管理上の課題等

当施設は鹿角高校が定期的な見回り等で維持管理を行っていくが、無人施設となるため、施設の防犯・保安上の課題がある。

5 管理に関する実施方針

定期的な見回り・点検等により損傷・破損箇所の有無や劣化状況を把握し、売却・譲渡や解体まで必要な修繕措置等を行う。

6 管理に関する実施計画

小坂高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	屋根改修等	23,008	
R2	エアコン専用電源修繕	1,023	
R2	受変電設備修繕	1,562	
R3	トイレ洋式化・自動水栓設置修繕	4,015	
R5	自転車置き場解体工事	1,793	
	(合 計)	31,401	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,094	1,139	1,156	
運用コスト	8,723	7,927	6,727	
修繕コスト	5,800	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	15,617	9,066	7,883	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	200	170	170	

4	施設名	大館鳳鳴高等学校
---	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	大館鳳鳴高等学校	所在地	大館市字金坂後
施設面積	13,741.70 m ²	建設年	昭和54年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	922,165,010 円

※台帳価格は定時制を含む

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学を中心校として、大規模修繕を実施しながら存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学の中心校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

耐震補強工事は終えており、安全性に問題はないが、築40年以上経っており、今後、大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

大館鳳鳴高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	煙突断熱材改修	14,577	
H30	地下タンク改修	5,502	
R2	エアコン電源修繕	7,172	
R2	変圧器更新修繕	4,015	
R2	廊下パネルヒーター修繕	737	
R3	地下タンク改修	712	
R3	トイレ洋式化及び手洗自動水栓設置修繕	21,263	
R4	大規模修繕(建築・設備)	137,956	
R5	大規模修繕(建築・設備)	48,532	
R6	大規模修繕(建築・設備)	194,338	
R6	校内放送設備更新修繕	2,497	
R7	大規模修繕(建築・設備)	67,792	
R7	防災監視盤更新工事	14,866	
	(合 計)	519,959	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	625	612	593	
運用コスト	14,391	13,458	10,549	
修繕コスト	1,947	19,000	0	
その他	0	0	0	
(合計)	16,963	33,070	11,142	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	771	774	763	

5	施設名	大館鳳鳴高等学校（定時制）
---	-----	---------------

1 施設の概要

施設名称	大館鳳鳴高等学校（定時制）	所在地	大館市柄沢字狐台
施設面積	6,964.85 m ²	建設年	平成3年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	円

※台帳価格は全日制に含む

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 県北地区の定時制基幹校として平成28年4月に開校しており、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

平成28年度に一部改修工事を実施したが、今後も大規模修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

平成28年度に一部改修工事を実施したが、今後も老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

大館鳳鳴高等学校（定時制）に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	校舎棟誘導灯改修	6,486	
R1	公共下水道接続 実施設計	1,000	
R2	公共下水道接続 工事	25,500	
R6	体育館破風修繕	1,210	
	(合 計)	34,196	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,599	1,659	1,695	
運用コスト	7,969	8,156	6,872	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	9,568	9,815	8,567	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	422	377	371	

6	施設名	大館国際情報学院中学校・高等学校
---	-----	------------------

1 施設の概要

施設名称	大館国際情報学院中学校・高等学校	所在地	大館市松木字大上
施設面積	17,337.44 m ²	建設年	平成17年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	2,011,629,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、県北地区の中高一貫校として、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、15年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。
 躯体保護等のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

大館国際情報学院中学校・高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	メディアホール屋根改修、気中開閉器更新	16,375	
H30	公共下水道接続等	22,285	
R3	灯油ヒートポンプエアコン修繕	1,293	
R3	灯油ヒートポンプエアコン修繕	787	
R3	給食調理室床修繕	5,269	
R4	厨房用ガス給湯器更新修繕	264	
R4	講堂天井落下防止改修（設計）	686	
R5	講堂天井落下防止改修（工事）	19,825	
R5	空調設備改修（設計）	2,301	KHP
R5	武道場天井落下防止改修（設計）	634	
R5	KHP修繕	2,343	
R5	雑用水ポンプ制御盤修繕	2,164	
R6	体育館ランプ交換修繕	4,177	
R6	KHP修繕	868	
R7	空調設備改修（工事）	192,129	R8年度までの2カ年計画
	（ 合 計 ）	271,400	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	5,703	4,768	3,284	
運用コスト	21,545	21,171	19,483	
修繕コスト	0	881	5,364	
その他	0	0	0	
（合計）	27,248	26,820	28,131	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	870	850	850	

7	施設名	大館桂桜高等学校
---	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	大館桂桜高等学校	所在地	大館市片山町
施設面積	27,742.96 m ²	建設年	平成28年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	2,758,447,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、建設年数が新しいことから機能維持のための修繕をしながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、現時点での課題等はない。

5 管理に関する実施方針

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕を定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

大館桂桜高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	グラウンド法面修繕	536	
R2	グラウンド裏排水回収	1,912	
R4	テニスコート補修修繕	613	
	(合 計)	3,061	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)				

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

8	施設名	秋田北鷹高等学校
---	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	秋田北鷹高等学校	所在地	北秋田市伊勢町
施設面積	19,208.21 m ²	建設年	平成22年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	1,728,298,003 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕が必要となる。

5 管理に関する実施方針

- ・当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

秋田北鷹高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	雑用水槽上水切替修繕	1429	
R2	エアコン設置にかかる電気設備修繕	2,420	
R3	KHP-4(大会議室系統)室外機コンプレッサー交換修繕	1,788	
R3	屋上KHP室外機(3台)内部仕切板修繕	539	
R3	自動水栓設置修繕	2,967	
R3	校舎・青雲寮 トイレ洋式化工事、自動水栓取付修繕	1,375	
R4	KHP-1 室外機オイル漏れ等修繕	627	
R4	講堂天井落下防止改修(設計)	1,162	
R5	講堂天井落下防止改修(工事)	21,498	
R5	武道場天井落下防止改修(設計)	635	
R5	KHP Vベルト交換修繕	671	
R5	照明器具交換修繕	1,232	
R6	KHP室外機コンプレッサー交換修繕	3,872	
	(合 計)	40,215	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	5,317	5,982	6,240	
運用コスト	17,641	18,959	17,116	
修繕コスト	1,320	713	0	
その他	0	0	0	
(合計)	24,278	25,654	23,356	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	802	810	794	

9	施設名	能代高等学校
---	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	能代高等学校	所在地	能代市字高埜
施設面積	11,608.00 m ²	建設年	昭和49年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	214,350,013 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	建替え又は大規模修繕

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、地域の進学の中核校として、建替え又は大規模修繕を実施しながら存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地域の進学の中心校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

築40年以上を経過し、建物全体の老朽化が進行していることから、建替え又は大規模修繕を実施する。

4 管理上の課題等

耐震補強工事は終えており安全性に問題はないが、建物の老朽化が進行していることから、今後、建替え又は大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

建物の老朽化が進行していることから、建替え又は大規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

能代高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	ペーパーライザー修繕	1,372	
R2	外灯修繕	513	
R3	トイレ洋式化・自動水洗設置	10,886	
R3	GHP室外機修繕	1,012	
R3	ボイラー室屋根修繕	2,475	
R3	軟式野球場・硬式野球場ダグアウト修繕	2,463	
R4	GHPエアコン修繕	2,155	
R4	教室棟1階トイレ給水管改修工事	2,195	
R6	外壁診断	2,016	
R6	GHP室外機修繕	501	
R6	第二体育館照明器具LED化修繕	1,067	
	(合 計)	26,655	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,099	910	942	
運用コスト	12,298	11,651	11,336	
修繕コスト	0	40,536	1,271	
その他	0	0	0	
(合計)	13,397	53,097	13,549	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	732	760	760	

10	施設名	能代高等学校（定時制）
----	-----	-------------

1 施設の概要

施設名称	能代高等学校（定時制）	所在地	能代市二ツ井町字五千刈
施設面積	7,255.06 m ²	建設年	平成3年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	505,708,004 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、能代高校の昼間の部定時制課程として存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）において、能代工業高校定時制課程との再編について検討することとしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

耐震補強工事は終えており、安全性に問題はないが、築30年以上経っており、今後、大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

能代高等学校（定時制）に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	トイレブース及びトイレ入り口ドア修繕	1,743	
R3	トイレ洋式化及び自動水栓設置修繕	5,896	
R4	野球部室解体	3,024	
R6	武道場天井落下防止改修（設計）	810	
R6	自動火災報知設備更新（設計）	1,117	
R7	自動火災報知設備更新（工事）	29,505	
	（ 合 計 ）	34,456	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,359	1,523	1,352	
運用コスト	4,681	4,381	3,216	
修繕コスト	0	0	660	
その他	0	0	0	
（合計）	6,040	5,904	5,228	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	196	175	170	

11	施設名	能代松陽高等学校
----	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	能代松陽高等学校	所在地	能代市緑町
施設面積	16,491.80 m ²	建設年	平成25年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	2,235,155,017 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、現時点での課題等はない。

5 管理に関する実施方針

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕を定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

能代松陽高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	冷暖房用エアコン設置に伴う電源等修繕	2,860	
R4	講堂天井落下防止改修(設計)	638	
R5	防球ネット改修(工事)	55,000	
R5	温水用拡張タンク修繕	512	
R5	T V 共聴設備修繕	681	
R6	講堂天井落下防止改修(工事)	51,060	
R6	野球場防球ネット張替修繕	2,372	
R6	講堂排煙窓オペレータ修繕	792	
	(合 計)	113,915	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,066	5,060	5,065	
運用コスト	15,229	16,360	16,377	
修繕コスト	0	248	0	
その他	0	0	0	
(合計)	16,295	21,668	21,442	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	786	739	732	

12	施設名	能代科学技術高等学校
----	-----	------------

1 施設の概要

施設名称	能代科学技術高等学校	所在地	能代市盤若町
施設面積	20,066.89 m ²	建設年	令和2年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	3,301,626,005 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果		
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、旧能代工業高校と旧能代西高校との統合を行い、校舎の建て替えを実施した。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、旧能代工業高校と旧能代西高校との統合を実施している。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、現時点での課題等はない。

5 管理に関する実施方針

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕を定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

能代科学技術高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(能代地区専門系統合校整備事業 ※能代工業高校と能代西高校の統合)		
	H29-H30 基本・実施設計	292,195	
R1	施設整備	2,161,794	
R2	施設整備	2,008,336	
R3	体育館オイルタンク交換修繕	1,980	
R3	施設整備	647,936	
R4	施設整備	891,321	
R5	施設整備	213,028	
	(合 計)	6,216,590	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	662	681	622	
運用コスト	14,292	13,899	11,460	
修繕コスト	1,589	1,530	777	
その他	0	0	0	
(合計)	16,543	16,110	12,859	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	449	448	434	

13	施設名	旧能代西高等学校 校舎
----	-----	-------------

1 施設の概要

施設名称	旧能代西高等学校 校舎	所在地	能代市真壁地字上野
施設面積	11,709.65 m ²	建設年	昭和45年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	320,450,030 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	廃止	除却処分を実施
「基本的な方針の考え方」 ・当施設は能代科学技術高校への統合に伴い、令和3年4月に閉校している。 ・施設は昭和40年代に建築され老朽化が激しく、また、旧耐震基準により建設された施設で転用等は難しい。 ・そのため、維持管理コストの低減や倒壊等のリスク除去のため、早期に解体を行う。		

3 目標使用年数 【令和7年解体】

・老朽施設で耐震性の面から他用途への利用は難しいため、倒壊等のリスク除去のため令和7年に解体を行う。
--

4 管理上の課題等

・当施設は能代科学技術高校が定期的な見回り等で維持管理を行っているが、無人施設であるため、施設の防犯・保安上の課題がある。

5 管理に関する実施方針

・定期的な見回り・点検等により損傷・破損箇所の有無や劣化状況を把握し、売却・譲渡や解体まで必要な修繕措置等を行う。

6 管理に関する実施計画

旧能代西高等学校校舎に係る今後 10 年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	学校照明器具修繕	528	
R5	管理棟、教室棟、体育館等の解体（設計費）	31,808	
R6	管理棟、教室棟、体育館等の解体（工事費）	1,919,500	解体工事は産業労働部で行う
	(合 計)	1,951,308	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	-	-	-	
運用コスト	-	-	-	
修繕コスト	-	-	-	
その他	-	-	-	
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	-	-	-	

14	施設名	五城目高等学校
----	-----	---------

1 施設の概要

施設名称	五城目高等学校	所在地	南秋田郡五城目町大川西野字田屋下
施設面積	9,670.99 m ²	建設年	昭和52年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	248,209,002 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、今後も入学者数が一定程度見込めることや、全県的に見た学校の配置状況等を考慮し存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、45年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

五城目高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	地下タンク改修	1,772	
R2	1、2年教室空調機電源配線修繕	2,352	
R2	変圧器修繕	2,482	
R2	屋根・外壁改修	79,558	
R3	トイレ洋式化修繕	7,293	
R3	自動水栓設置修繕	1,837	
R4	武道場天井落下防止改修（設計）	686	
R5	グラウンド内野土壌補修修繕	1,000	
R6	武道場天井落下防止改修（工事）	21,449	
R6	防火シャッター取替修繕	1,760	
R6	第二体育館照明器具LED化修繕	910	
	（ 合 計 ）	121,099	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	489	243	448	
運用コスト	7,729	7,021	5,565	
修繕コスト	0	12,234	1,253	
その他	0	0	0	
（合計）	8,218	19,498	7,266	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	363	347	328	

15	施設名	男鹿海洋高等学校
----	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	男鹿海洋高等学校	所在地	男鹿市船川港南平沢字大畑台
施設面積	12,677.40 m ²	建設年	昭和50年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	1,041,071,009 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	集約化（主）を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、男鹿工業高校との統合を検討しているが、統合しても一定期間は現在の両校の校舎を活用する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）において、男鹿工業高校との統合について検討することとしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

耐震補強工事は終えており、安全性に問題はないが、築45年以上経っており、今後、大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・第7次高等学校総合整備計画における整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る大規模修繕等は実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

男鹿海洋高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	地下タンク改修	5,429	
R2	プール棟温水ボイラー受水槽修繕（設計）	1,075	
R2	校内道路舗装修繕	968	
R2	体育館内壁修繕	572	
R2	第1体育館破風修繕	583	
R4	給排水衛生設備工事	35,343	
R4	防火設備修繕	566	
R4	蒸気暖房用スチームトラップ修繕	1,595	
R4	プール棟・武道場天井落下防止改修（設計）	2,038	
R5	体育館等屋根修繕	726	
R5	集水管・逆止弁修繕	913	
R5	プール棟天井落下防止改修（工事）	44,242	
R6	武道場天井落下防止改修（工事）	21,880	
R6	校舎躯体調査	990	
R6	潜水プール系統3方弁修繕	883	
R7	管理・教室棟屋根防水外壁塗装等改修	119,510	
	（ 合 計 ）	237,313	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,293	1,133	1,238	
運用コスト	17,929	19,660	15,169	
修繕コスト	33,877	12,640	2,237	
その他	0	0	0	
（合計）	53,099	33,433	18,644	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	367	363	371	

16	施設名	男鹿工業高等学校
----	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	男鹿工業高等学校	所在地	男鹿市船越字内子
施設面積	15,547.32 m ²	建設年	昭和56年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	448,256,004 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	集約化（主）を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、男鹿海洋高校との統合を検討しているが、統合しても一定期間は現在の両校の校舎を活用する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）において、男鹿海洋高校との統合について検討することとしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、40年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・第7次高等学校総合整備計画における整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る大規模修繕等は実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

男鹿工業高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	煙突断熱材改修	14,577	
H30	内部改修等	22,730	
R4	汚水・汚物用水中ポンプ交換	742	
R6	キュービクル内変圧器取替修繕	1,689	
	(合 計)	39,738	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	572	588	1,160	
運用コスト	11,122	9,730	8,275	
修繕コスト	578	1,829	1,404	
その他	0	0	0	
(合計)	12,272	12,147	10,839	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	340	340	349	

17	施設名	金足農業高等学校
----	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	金足農業高等学校	所在地	秋田市金足追分
施設面積	17,492.95 m ²	建設年	昭和47年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	564,472,030 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	建替えを実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、本県における農業の中心的な専門高校として存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、本県における農業の中心的な専門高校として位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

築40年以上を経過し、建物全体の老朽化が著しいことから、建替えを行う。

4 管理上の課題等

耐震補強工事を終えており安全性に問題はないが、老朽化が著しいため建替えが必要である。

5 管理に関する実施方針

老朽化が著しいため、今後、整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6 管理に関する実施計画

金足農業高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	煙突断熱材改修	18,590	
H30	セミナーハウスボイラー修繕	5,702	
R2	畑スプリンクラー用ポンプ修繕	1,441	
R2	高圧気柱開閉器取替修繕	654	
R3	実習棟第2コンピュータ室ほかエアコン修繕	1,254	
R3	ボイラー修繕	560	
R4	外部井戸水漏水修繕	827	
R4	第1柱高圧気中開閉器取替修繕	935	
R5	男子トイレ配管修繕	555	
	R3-R5 基本・実施設計（改築事業）	319,889	
R5	施設整備（改築事業）	72,660	
R6	施設整備（改築事業）	59,064	
R6	自動微細目スクリーン交換修繕	638	
R7	施設整備（改築事業）	753,293	
	（ 合 計 ）	1,236,062	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,627	1,571	1,631	
運用コスト	15,607	14,870	14,414	
修繕コスト	0	2,816	2,743	
その他	0	0	0	
（合計）	17,234	19,257	18,788	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	607	608	592	

18	施設名	秋田西高等学校
----	-----	---------

1 施設の概要

施設名称	秋田西高等学校	所在地	潟上市天王字追分西
施設面積	10,975.57 m ²	建設年	昭和54年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	356,643,002 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、大規模修繕を実施しながら存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、40年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

秋田西高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	煙突断熱材改修	14,577	
H30	電気設備改修等	24,448	
R2	校舎・管理棟排気ファン更新	5,272	
R2	冷暖房設備事業電源増改修	2,432	
R2	冷暖房設備事業電源配線改修	2,311	
R2	女子トイレ便器（和式→洋式）改修	2,009	
R2	雑用水・飲料水用ポンプ補修（屋外：30t受水槽ポンプ室）	1,199	
R2	冷暖房設備配線改修	561	
R2	充電器電源改修	933	
R3	高圧キ電盤2遮断器改修	1,749	
R4	消火栓ポンプフート弁及び吸込管の交換	564	
R4	空調設備改修（設計）	1,704	KHP
R5	空調設備改修（工事）	46,310	KHP
R6	普通教室棟縦樋修繕	2,420	
R7	普通教室棟縦樋改修工事（設計）	2,149	
	（ 合 計 ）	108,638	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	290	538	567	
運用コスト	9,052	8,822	7,995	
修繕コスト	50,245	31,037	0	
その他	0	0	0	
（合計）	59,587	40,397	8,562	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	651	646	617	

19	施設名	秋田高等学校
----	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	秋田高等学校	所在地	秋田市手形字中台
施設面積	18,488.99 m ²	建設年	昭和61年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	885,419,013 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学を中心校として、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学の中心校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、35年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

秋田高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	屋根防水改修、煙突断熱材改修	105,791	
R2	理科棟消火栓設備改修	3,495	
R2	ボイラー更新(実施設計)	717	
R2	秋田高校縦樋交換修理	1,452	
R2	受変電設備取替修理	2,420	
R2	管理棟空調電源増設修理	2,310	
R2	管理棟(理科棟・北棟)空調電源増設修理	2,332	
R2	管理棟空調電源増設修理(2教室分)	649	
R3	ボイラー更新(工事)	22,196	
R3	秋田高校外部通路柱脚修繕	858	
R3	秋田高校トイレ洋式化・自動水栓化修繕	29,700	
R3	秋田高校小体育館トイレ洋式化及び校史資料館自動水栓化修繕	2,200	
R4	排水路拡幅及びグラウンド整備(設計)	5,498	
R4	高圧気中開閉器取替修繕	1,100	
R4	油入変圧器取替修繕	1,980	
R4	排水防護壁設置修繕	605	
R4	幹線ケーブル取替修繕	2,376	
R5	防火設備等修繕	2,712	
R5	排水路拡幅及びグラウンド整備(工事)	70,672	
R5	武道場天井落下防止対策(設計)	807	
R5	安定器取替修繕	1,441	
R5	野球場法面復旧工事	1,980	
R5	上水定水位弁修繕	528	
R6	小体育館照明器具LED化修繕	928	
	(合 計)	264,747	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	424	1,965	868	
運用コスト	19,220	17,993	17,098	
修繕コスト	5,603	387	20,126	
その他	0	0	0	
(合計)	25,247	20,345	38,092	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	929	897	889	

20	施設名	秋田北高等学校
----	-----	---------

1 施設の概要

施設名称	秋田北高等学校	所在地	秋田市千秋中島町
施設面積	14,451.75 m ²	建設年	平成13年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	2,486,976,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学を中心校として、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学の中心校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、20年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。
 躯体保護等のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

秋田北高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	テニスコート人工芝補修工事	1,000	
R2	駐車場大型ゲート修繕	880	
R3	テニスコート人工芝補修工事	1,000	
R3	温水ボイラ運転操作盤更新修繕	875	
R4	真空温水ヒーター（1号機）バーナー修繕	858	
R5	暖房用真空式温水器修繕	1,400	
R6	武道場天井落下防止改修（設計）	871	
R6	高圧機器更新（設計）	660	
R6	空調電源幹線修繕	2,112	
R6	テニスコート人工芝修繕	1,540	
R6	第一体育館照明器具LED化修繕	2,350	
R7	高圧機器更新（工事）	8,760	
R7	複合火災受信機更新	17,645	
	（ 合 計 ）	33,938	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,051	1,329	1,265	
運用コスト	15,912	16,003	14,694	
修繕コスト	378	451	1,050	
その他	0	0	0	
（合計）	17,341	17,783	17,009	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	782	772	771	

21	施設名	秋田南高等学校・秋田南高等学校中部
----	-----	-------------------

1 施設の概要

施設名称	秋田南高等学校・秋田南高等学校中部	所在地	秋田市仁井田緑町
施設面積	18,810.30 m ²	建設年	平成9年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	2,360,955,007 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学を中心校として、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学の中心校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

中部設置に伴う改修を行ったが、今後も老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。
躯体保護等のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

秋田南高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	気中開閉器修繕	828	
R3	野球場防球ネット修繕	2,497	
R4	グラウンド防砂ネット修繕	2,145	
R4	2階トイレ換気扇修繕	537	
R4	手すり改修	803	
R4	渡り廊下（光の塔・風の塔）雨漏り修繕	946	
R5	空調機修繕	792	
R6	キュービクル内高圧機器交換修繕等（設計）	770	
R6	中等部給食室食器洗浄機修繕	718	
R7	キュービクル内高圧機器交換修繕等（工事）	12,700	
	（ 合 計 ）	14,188	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,112	1,530	969	
運用コスト	17,881	17,059	17,292	
修繕コスト	2,763	0	0	
その他	0	0	0	
（合計）	21,756	18,589	18,261	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	894	896	894	

22	施設名	秋田中央高等学校
----	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	秋田中央高等学校	所在地	秋田市土崎港南
施設面積	14,405.27 m ²	建設年	平成26年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	2,070,178,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学の中 心校として、機能維持のための修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学
の中心校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、現時点での課題等はない。

5 管理に関する実施方針

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕を定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

秋田中央高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	ラグビー場人工芝修繕	1,815	
R3	野球部グラウンド照明修繕	2,475	
	(合 計)	4,290	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	345	415	2,303	
運用コスト	15,121	12,766	11,454	
修繕コスト	599	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	16,065	13,181	13,757	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	767	780	785	

23	施設名	秋田工業高等学校
----	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	秋田工業高等学校	所在地	秋田市保戸野金砂町
施設面積	25,693.44 m ²	建設年	平成28年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	2,902,498,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、本県における工業の中心的な専門高校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、本県における工業の中心的な専門高校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、現時点での課題等はない。

5 管理に関する実施方針

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕を定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

秋田工業高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R3	武道場エアコン改修修繕	2,365	
R3	手洗い蛇口自動水栓化修繕	770	
R3	実習用プラント撤去及び補修修繕	1,617	
R4	野球場排水補修修繕	1,980	
R4	野球場整備補修修繕	810	
	(合 計)	7,542	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	3,413	4,932	3,261	
運用コスト	21,566	20,508	15,005	
修繕コスト	971	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	25,950	25,440	18,266	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	763	731	711	

24	施設名	秋田明德館高等学校
----	-----	-----------

1 施設の概要

施設名称	秋田明德館高等学校	所在地	秋田市中通二丁目
施設面積	13,834.37 m ²	建設年	平成17年
構造・階数	R C造7階	台帳価格	1,346,182,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、中央地区の定時制基幹校として、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、中央地区の定時制基幹校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、15年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

秋田明德館高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	屋上冷却塔内部配管継手漏水修理	572	
R3	トイレ洋式化・自動水栓設置	8,250	
R4	1階防災センターエアコン交換修繕	517	
R4	屋上冷却用散水ポンプ交換修繕	506	
R4	加圧給水ポンプ（中水No.2系統）整備修繕	517	
R4	講堂天井落下防止改修（設計）	837	
R5	高圧受電盤復電ユニット修繕	1,452	
R5	中水・補給水メーター交換修繕	858	
R6	中央監視装置改修	7,049	
R6	熱源ポンプインバーター修繕	2,827	
R6	カーテンウォールガラス修繕	525	
R6	泡消火設備メインバルブ改修修繕	704	
R7	高圧真空電源機器交換修繕	9,890	
	（ 合 計 ）	24,142	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	24,609	26,625	26,683	
運用コスト	27,959	26,827	24,063	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
（合計）	52,568	53,452	50,746	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	1,162	929	849	

25	施設名	新屋高等学校
----	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	新屋高等学校	所在地	秋田市豊岩石田坂字鎌塚
施設面積	11,046.97 m ²	建設年	昭和59年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	455,979,002 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、35年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

新屋高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	屋根防水改修	10,335	
H30	公共下水道接続 実施設計	1,207	
H30	階段昇降機取付	5,000	
R1	受水槽屋根改修	6,625	
R1	公共下水道接続	31,738	
R3	揚水ポンプ修繕	2,112	
R3	校舎棟給油管漏洩修繕	660	
R5	構内入口歩道修繕	2,430	
R5	武道場天井落下防止改修（設計）	807	
R6	第一体育館照明器具LED化修繕	1,876	
R6	武道場屋根改修（設計）	1,047	
R7	武道場屋根改修（工事）	21,200	
R7	武道場天井落下防止改修（工事）	26,121	
	（ 合 計 ）	111,158	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	979	1,047	1,015	
運用コスト	10,972	10,072	8,924	
修繕コスト	1,323	850	2,084	
その他	0	0	0	
（合計）	13,274	11,969	12,023	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	649	650	621	

26	施設名	本荘高等学校
----	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	本荘高等学校	所在地	由利本荘市陳場岱
施設面積	16,796.19 m ²	建設年	昭和63年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	929,415,007 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学の中心校として、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学の中心校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

耐震性を有しており、安全性に問題はないが、築30年以上経っており、大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護等のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

本荘高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	体育館屋根改修、受変電機器更新	41,913	
R2	共通教室等エアコン電源工事	1,089	
R2	普通教室エアコン電源工事	6,160	
R3	トイレ洋式化及び手洗器自動水栓化	15,180	
R3	端艇部合宿所引込ポール倒壊による引込線修繕	510	
R3	R3.7.12豪雨による民地へ流入した土砂の撤去による修繕	2,024	
R4	硬式野球場法面復旧修繕	550	
R4	屋根・外壁改修等	54,693	
R4	自転車置場屋根改修・解体	9,262	
R4	法面災害復旧工事	18,073	
R5	給排水設備改修等	101,706	
R6	給排水設備改修等	43,306	
R6	外付け非常階段修繕	4,598	
R6	校舎棟屋根漏水修繕	706	
R6	空調ドレン配管修繕	509	
R6	体育館照明器具LED化修繕	2,165	
R7	第2体育館屋根外壁改修	93,737	
	(合 計)	396,181	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,590	1,588	1,626	
運用コスト	12,924	12,907	11,218	
修繕コスト	1,365	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	15,879	14,495	12,844	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	828	826	818	

27	施設名	由利高等学校
----	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	由利高等学校	所在地	由利本荘市川口字愛宕山
施設面積	11,538.91 m ²	建設年	平成19年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	997,432,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、15年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

由利高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	正面玄関サッシ修繕	1,012	
R2	第一体育館雨漏り修繕	935	
R3	東側法面崩壊箇所仮修繕	956	
R3	情報教育室ロスナイ換気扇修繕	517	
R4	GHPエアコン定期点検整備	528	
R4	第一体育館漏水補修	2,420	
R5	高圧機中開閉器取替修繕	1,463	
R5	体育館屋根修繕	2,453	
R6	GHP修繕	3,938	
R6	グラウンド陥没修繕	1,386	
	(合 計)	15,608	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,871	3,525	2,342	
運用コスト	11,290	11,765	11,696	
修繕コスト	0	2,657	0	
その他	0	0	0	
(合計)	14,161	17,947	14,038	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	612	609	594	

28	施設名	由利工業高等学校
----	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	由利工業高等学校	所在地	由利本荘市石脇字田尻
施設面積	17,028.79 m ²	建設年	平成15年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	2,068,675,004 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）（後期計画）で再編計画の方向性を検討することとしているため、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）において、西目高校、仁賀保高校及び由利工業高校を視野に入れた統合の検討を行うこととしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

総合整備計画で統合等再編の対象となっており、設置場所も未定であることから、校舎の使用年数も未定である。

4 管理上の課題等

建築後、20年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

第7次高等学校総合整備計画における整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6 管理に関する実施計画

由利工業高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	野球場外野ネット用ポール修繕	2,354	
R3	GHP室外機修繕	770	
R4	浄化槽付帯機器取替修繕	1,341	
R6	武道場天井落下防止改修（設計）	871	
R6	非常放送設備用蓄電池修繕	605	
R6	GHP室外機修繕	1,059	
	(合 計)	7,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,313	2,536	1,973	
運用コスト	14,603	14,543	13,497	
修繕コスト	987	1,064	536	
その他	0	0	0	
(合計)	17,903	18,143	16,006	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	423	434	433	

29	施設名	矢島高等学校
----	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	矢島高等学校	所在地	由利本荘市矢島町七日町字助の渚
施設面積	5,330.56 m ²	建設年	平成21年
構造・階数	R C 造一部木造2階	台帳価格	625,016,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、地理的な背景を踏まえ、今後も校舎一体型の中高連携校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

当面は機能維持のための修繕を行うが、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

矢島高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R3	トイレ洋式化・自動水栓修繕	1,650	
R3	KHPコンプレッサー交換修繕	1,012	
R4	KHPコンプレッサー交換修繕	1,452	
R5	中央監視装置修繕	2,409	
R5	KHPコンプレッサー交換修繕	1,485	
R5	KHP室外機修繕	900	
	(合 計)	2,385	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,251	2,288	2,342	
運用コスト	10,040	9,389	8,591	
修繕コスト	0	0	994	
その他	0	0	0	
(合計)	12,291	11,677	11,927	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	244	204	198	

30	施設名	西目高等学校
----	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	西目高等学校	所在地	由利本荘市西目町沼田字新道下
施設面積	14,894.35 m ²	建設年	昭和49年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	575,011,041 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）（後期計画）で再編計画の方向性を検討することとしているため、大規模修繕を実施しながら存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）において、西目高校、仁賀保高校及び由利工業高校を視野に入れた統合の検討を行うこととしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

総合整備計画で統合等再編の対象となっており、設置場所も未定であることから、校舎の使用年数も未定である。

4 管理上の課題等

耐震補強工事は終えており、安全性に問題はないが、築40年以上経っており、今後、大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

第7次高等学校総合整備計画における整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6 管理に関する実施計画

西目高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	第1体育館外壁屋根照明改修	112,231	
R2	牛舎解体(設計)	7,832	
R2	通教室等コンセント増設修繕	792	
R3	屋根・外壁改修等	138,123	
R3	ビニールハウス修理	2,125	
R3	ビニールハウス修理	2,125	
R3	ボイラー1号機マイコン他交換修理	505	
R4	実習施設等解体	37,994	
R4	職員室他ルームエアコン設置修繕	561	
R5	構内低圧架空電線路修繕	1,969	
R5	防火シャッター修繕	550	
R6	サッカー場照明灯ポール等修繕	2,238	
R6	防火シャッター取替修繕	583	
R6	構内高圧架空電線路修繕	715	
	(合 計)	308,343	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	860	824	779	
運用コスト	12,091	11,446	9,943	
修繕コスト	1,133	3,880	3,457	
その他	0	0	0	
(合計)	14,084	16,150	14,179	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	525	503	466	

31	施設名	仁賀保高等学校
----	-----	---------

1 施設の概要

施設名称	仁賀保高等学校	所在地	にかほ市象潟町字下浜山
施設面積	8,824.68 m ²	建設年	昭和52年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	254,819,003 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）（後期計画）で再編計画の方向性を検討することとしているため、維持管理にかかる実施しながら存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）において、西目高校、仁賀保高校及び由利工業高校を視野に入れた統合の検討を行うこととする。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

総合整備計画で統合等再編の対象となっており、設置場所も未定であることから、校舎の使用年数も未定である。

4 管理上の課題等

耐震補強工事は終えており、安全性に問題はないが、築35年以上経っており、今後、大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

第7次高等学校総合整備計画における整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6 管理に関する実施計画

仁賀保高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	空調設備改修	3,909	
R2	会議室エアコン取替修繕	1,568	
R2	電気配線設備等修繕	3,828	
R3	トイレ設備等修繕	5,819	
R4	浄化槽調整ブロワ取替修繕	582	
R5	トイレ内壁改修	7,500	
R6	小体育館屋根漏水修繕	1,430	
R6	小体育館照明器具LED化修繕	829	
	(合 計)	25,465	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	979	1,006	1,028	
運用コスト	11,255	12,089	11,855	
修繕コスト	1,806	7,566	0	
その他	0	0	0	
(合計)	14,040	20,661	12,883	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	455	458	442	

32	施設名	西仙北高等学校
----	-----	---------

1 施設の概要

施設名称	西仙北高等学校	所在地	大仙市刈和野字北ノ沢嶋山
施設面積	7,144.24 m ²	建設年	平成2年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	174,507,014 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、秋田市の生徒の進学先の一つとなっていることや学校配置に係る地理的バランス等も考慮し存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、具体的な構想案を後期計画に示すこととしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、30年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

西仙北高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	屋根・外壁改修（格技場）	10,941	
R2	敷地法面シート養生修繕	693	
R2	街灯修繕	693	
R2	エアコン電源配置修繕	858	
R3	トイレ洋式化及び自動水栓設置修繕	5,794	
R3	1・2・3年男子トイレ便器交換修繕	767	
R4	体育館見学屋根防水改修工事	5,580	
R4	武道場天井落下防止改修（設計）	576	
R4	高圧ケーブル取替修繕	2,035	
R4	体育館屋根玄関屋根外壁及び内部天井修繕	660	
R4	野球部部室小屋屋根修繕	627	
R4	自動火災報知設備修繕	546	
R5	雑用水用揚水ポンプ修繕	531	
	（ 合 計 ）	30,301	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,000	873	1,090	
運用コスト	7,141	6,703	6,031	
修繕コスト	432	5,331	0	
その他	0	0	0	
（合計）	8,573	12,907	7,121	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	178	201	271	

33	施設名	大曲農業高等学校
----	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	大曲農業高等学校	所在地	大仙市大曲金谷町
施設面積	22,289.25 m ²	建設年	平成28年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	2,859,865,141 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、本県における農業の中心的な専門高校として存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、本県における農業の中心的な専門高校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、現時点での課題等はない。

5 管理に関する実施方針

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕を定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

大曲農業高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	農場施設給排水設備改修	20,091	
R1	大嶋農場活性炭ろ材交換修繕	1,012	
R2	大嶋農場畜舎浄化槽主ブロワー交換修繕	921	
R3	自動水栓交換修繕	847	
R4	大嶋農場鶏舎外壁葺き替え工事	1,298	
R5	畜舎浄化槽機器修繕	1,442	
	(合 計)	25,611	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,918	1,941	1,901	
運用コスト	17,369	16,013	13,727	
修繕コスト	0	259	0	
その他	0	0	0	
(合計)	19,287	18,213	15,628	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	563	556	577	

34	施設名	大曲農業高等学校太田分校
----	-----	--------------

1 施設の概要

施設名称	大曲農業高等学校太田分校	所在地	大仙市太田町横沢字窪関南
施設面積	2,339.13 m ²	建設年	昭和61年
構造・階数	木造1階	台帳価格	9 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）（後期計画）では、小規模校として機能維持のための修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）において、統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の機能維持のための修繕を実施し、使用する。

4 管理上の課題等

現在のところ、安全性等に特に問題はないため、当面は機能維持のための修繕が必要となる。

5 管理に関する実施方針

大規模修繕は実施しない。

6 管理に関する実施計画

大曲農業高等学校太田分校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H28	高圧ケーブル取替修繕	863	
R1	屋根塗装修繕	2,268	
R2	管理棟屋根塗装	6,315	
R2	受変電設備取替修繕	897	
R2	自動給水装置ポンプ交換修繕	1,899	
R2	男子・女子トイレ洋便化工事	1,190	
R3	自動水栓交換修繕	671	
R3	職員男子・生徒女子トイレ洋便化修繕	1,246	
R4	体育館屋根改修	16,299	
	(合 計)	28,517	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	189	194	338	
運用コスト	1,503	1,574	1,535	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	1,692	1,768	1,873	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	109	95	85	

35	施設名	大曲高等学校
----	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	大曲高等学校	所在地	大仙市大曲栄町
施設面積	19,542.22 m ²	建設年	昭和45年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	2,356,656,005 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	建替えを実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学の中核校として存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学の中心校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

築45年以上を経過し、建物全体の老朽化が著しいことから、建替えを行う。

4 管理上の課題等

耐震補強工事を終えており安全性に問題はないが、老朽化が著しいため建替えが必要である。

5 管理に関する実施方針

老朽化が著しいため、今後、整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6 管理に関する実施計画

大曲高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	R1-R2 基本・実施設計（改築事業）	323,137	
R2	エアコン設備設置に係る電源等修繕	2,533	
R2	エアコン設備設置に係る変圧器等修繕	1,529	
R3	第2体育館床下地補強修繕	880	
R3	施設整備（改築事業）	678,300	
R4	施設整備（改築事業）	1,787,077	
R5	施設整備（改築事業）	1,757,742	
R6	施設整備（改築事業）	1,416,483	
R7	施設整備（改築事業）	590,899	
	（ 合 計 ）	6,558,580	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,225	1,322	1,379	
運用コスト	14,050	13,733	11,229	
修繕コスト	13,784	2,868	0	
その他	0	0	0	
（合計）	29,059	17,923	12,608	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	732	731	711	

36	施設名	大曲工業高等学校
----	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	大曲工業高等学校	所在地	大仙市大曲若葉町
施設面積	16,497.85 m ²	建設年	昭和47年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	1,318,241,005 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、本県における工業の中心的な専門高校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、本県における工業の中心的な専門高校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

校舎棟については耐震補強工事を実施しており、安全性に問題はないが、今後、大規模修繕は必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

大曲工業高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	野球場防球ネット改修	25,938	
R2	武道場屋根塗装	5,568	
R2	遮断弁内蔵メーターほか交換修理	770	
R2	冷房設備設置に係る電気設備修繕	1,870	
R3	トイレ洋式化・手洗蛇口自動水栓化修繕	13,640	
R4	地下オイルタンクライニング	5,166	
R5	暖房用ボイラー修繕	2,475	
R5	武道場天井落下防止改修（設計）	624	
R5	埋設污水配管修繕	720	
R6	地下タンク液面計取替修繕	517	
R6	防火シャッター取替修繕	2,346	
R7	武道場天井落下防止改修（工事）	17,736	
	（ 合 計 ）	77,370	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	942	1,132	1,069	
運用コスト	13,952	15,543	12,192	
修繕コスト	0	594	0	
その他	0	0	0	
（合計）	14,894	17,269	13,261	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	473	473	474	

37	施設名	角館高等学校
----	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	角館高等学校	所在地	仙北市角館町細越町
施設面積	11,896.78 m ²	建設年	昭和48年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	943,434,008 円

※台帳価格は定時制を含む

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、大規模改修も実施したことから、機能維持のための修繕を実施しながら存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

平成26年度に大規模修繕を実施したことから、当面は機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

大規模修繕を実施したことから、当面は機能維持のための修繕が必要となる。

5 管理に関する実施方針

- ・当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

角館高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R3	手洗場水栓交換修繕	428	
R3	手洗場水栓交換修繕	1,872	
R4	ガスメーター交換修繕	700	
R4	第一体育館音響設備修繕	2,241	
R5	第一体育館照明修繕	2,000	
R6	第一体育館照明修繕	1,832	
R6	GHP室外機修繕	528	
R6	GHPコンプレッサー交換修繕	1,320	
	(合 計)	10,921	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,240	0	1,773	
運用コスト	11,412	400	11,259	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	12,652	400	13,032	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	616	0	777	

38	施設名	角館高等学校（定時制）
----	-----	-------------

1 施設の概要

施設名称	角館高等学校（定時制）	所在地	仙北市角館町小館
施設面積	4,980.75 m ²	建設年	昭和44年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	円

※台帳価格は全日制に含む

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、大規模改修も実施したことから、機能維持のための修繕を実施しながら存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

平成27年度に大規模改修を実施したことから、当面は機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

大規模修繕を実施したことから、当面は機能維持のための修繕が必要となる。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

角館高等学校（定時制）に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R3	手洗場水栓交換修繕	515	
R4	囲障修繕	2,451	
	(合 計)	2,966	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	711	958	186	
運用コスト	8,629	10,819	3,790	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	9,340	11,777	3,976	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	286	790	42	

39	施設名	六郷高等学校
----	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	六郷高等学校	所在地	仙北郡美郷町六郷字馬場
施設面積	9,533.37 m ²	建設年	昭和56年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	409,412,009 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、全県唯一の福祉科を有する学校として、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

耐震補強工事は終えており、安全性に問題はないが、築40年以上経っており、今後、大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

六郷高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	体育館屋根改修	24,568	
H30	地下タンク改修等	12,165	
R2	パラペット修繕(危険箇所)	5,484	
R2	格技場照明設備修繕	913	
R2	1,2年生教室 エアコン設置工事	3,938	
R2	1,2年生教室 エアコン電源・電気配線修繕	1,980	
R3	トイレ洋式化及び手洗自動水栓化修繕	8,008	
R4	井水处理装置ろ材交換修繕	858	
R4	普通教室南側屋根パラペット修繕	825	
R4	消防設備修繕	892	
R5	高圧機中開閉器取替修繕	855	
R6	タッチパネルモニター交換修繕	1,045	
	(合 計)	61,531	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	660	678	814	
運用コスト	7,666	7,578	5,870	
修繕コスト	6,000	6,700	16,265	
その他	0	0	0	
(合計)	14,326	14,956	22,949	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	340	332	305	

40	施設名	横手高等学校
----	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	横手高等学校	所在地	横手市睦成字鶴谷地
施設面積	14,214.30 m ²	建設年	昭和45年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	2,159,622,006 円

※台帳価格は定時制を含む

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	建替えを実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学の中核校として存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学の中心校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

築45年以上を経過し、建物全体の老朽化が著しいことから、建替えを行う。

4 管理上の課題等

耐震補強工事を終えており安全性に問題はないが、老朽化が著しいため建替えが必要である。

5 管理に関する実施方針

老朽化が著しいため、今後、整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6 管理に関する実施計画

横手高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	地下タンク改修、煙突断熱材改修	21,609	
	H30-R1 基本・実施設計（改築事業）	287,525	
R2	施設整備（改築事業）	1,005,267	
R3	野球場給水散水栓設備修繕	1,045	
R3	弓道場屋根補修修繕	836	
R3	野球場休憩所修繕	2,156	
R3	駐車場アスファルト舗装修繕	935	
R3	施設整備（改築事業）	1,639,655	
R4	施設整備（改築事業）	1,326,477	
R5	防球ネット修繕	550	
R5	施設整備（改築事業）	1,079,858	
R6	施設整備（改築事業）	1,034,288	
R6	第二体育館屋根修繕	1,500	
R7	施設整備（改築事業）	687,609	
	（ 合 計 ）	7,089,310	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	761	704	1,050	
運用コスト	13,300	12,035	9,713	
修繕コスト	2,699	3,484	378	
その他	0	0	0	
（合計）	16,760	16,223	11,141	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	777	770	770	

41	施設名	横手高等学校（定時制）
----	-----	-------------

1 施設の概要

施設名称	横手高等学校（定時制）	所在地	横手市前郷二番町
施設面積	3,660.05 m ²	建設年	平成20年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	328,081,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、県南の定時制基幹校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、県南の定時制基幹校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕が必要となる。

5 管理に関する実施方針

- ・当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

横手高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R4	エアコン取付設置修繕	792	
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト				
運用コスト				
修繕コスト				
その他				
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等				

42	施設名	横手城南高等学校
----	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	横手城南高等学校	所在地	横手市根岸町
施設面積	13,220.79 m ²	建設年	平成10年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	1,596,409,002 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、20年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

横手城南高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	真空ヒーター修繕	872	
R2	スロープ上屋雪害解体及び手摺修繕	663	
R2	エアコン取付に伴う電気工事	1,298	
R3	点検フォロー用ブラケット修繕	1,430	
R3	トイレ洋式化及び自動水栓化修繕	21,021	
R4	茶室・華道部室解体	7,557	
R4	変圧器絶縁油交換修繕	674	
R4	高圧気中開閉器交換修繕	793	
R5	武道場天井落下防止改修（設計）	626	
R6	武道場天井落下防止改修（工事）	18,062	
R6	キャノピー化粧梁修繕	2,387	
	（ 合 計 ）	55,383	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,647	1,476	1,414	
運用コスト	12,582	12,580	10,441	
修繕コスト	423	0	2,524	
その他	0	0	0	
（合計）	14,652	14,056	14,379	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	635	615	595	

43	施設名	横手清陵学院中学校・高等学校
----	-----	----------------

1 施設の概要

施設名称	横手清陵学院中学校・高等学校	所在地	横手市大沢字前田
施設面積	24,685.40 m ²	建設年	平成16年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	2,538,150,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、県南地区の中高一貫校として、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、15年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。
 躯体保護等のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

横手清陵学院中学校・高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R1	第1・第2体育館屋根改修	54,363	R2に繰越
R2	給食厨房ガス給湯修繕	1,449	
R3	高圧気中開閉器更新修繕	935	
R3	プール濾過装置修繕	511	
R3	雑用水配管切替修繕	910	
R3	厨房冷房設備新設修繕（設計）	649	
R4	厨房冷房設備新設修繕（工事）	16,895	
R4	給食厨房室トイレ屋外排水設備修繕	604	
R4	空調設備改修（設計）	3,080	KHP
R5	照明器具修繕	770	
R5	武道場天井落下防止改修（設計）	626	KHP
R6	武道場天井落下防止改修（工事）	30,349	
R6	空調設備改修（工事）	139,040	KHP
R6	給水・雑用水ポンプユニット更新	20,261	
R6	体育館ランプ交換修繕	1,848	
R7	自動火災報知設備更新（設計）	5,208	
	（ 合 計 ）	277,498	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,806	2,780	3,041	
運用コスト	26,537	26,109	22,569	
修繕コスト	6,383	0	0	
その他	0	0	0	
（合計）	35,726	28,889	25,610	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	841	820	746	

44	施設名	平成高等学校
----	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	平成高等学校	所在地	横手市平鹿町上吉田字角掛
施設面積	7,836.99 m ²	建設年	平成6年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	697,177,002 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	集約化（主）を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、増田高校、雄物川高校との統合について検討を行う。
校舎の設置場所については、地元と協議の上、地域の実情などを考慮して決定する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）において、増田高校、雄物川高校との統合について検討することとしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

総合整備計画で統合等再編の対象となっており、設置場所も未定であることから、校舎の使用年数も未定である。

4 管理上の課題等

建築後、25年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

第7次高等学校総合整備計画における整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6 管理に関する実施計画

平成高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	屋根塗装他	5,400	
R3	トイレ、手洗自動水栓修繕	4,730	
R3	手洗器自動水栓化修繕	1,078	
R4	エレベーター部品交換修繕	871	
R4	武道場天井落下防止改修（設計）	549	
R5	軒先修繕	836	
	(合 計)	13,464	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,479	1,297	1,895	
運用コスト	8,731	7,682	6,311	
修繕コスト	649	0	2,466	
その他	0	0	0	
(合計)	10,859	8,979	10,672	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	369	366	350	

45	施設名	雄物川高等学校
----	-----	---------

1 施設の概要

施設名称	雄物川高等学校	所在地	横手市雄物川町今宿字まみ袋
施設面積	7,957.61 m ²	建設年	昭和58年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	353,233,010 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	集約化（主）を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、平成高校、増田高校との統合について検討を行う。
校舎の設置場所については、地元と協議の上、地域の実情などを考慮して決定する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）において、平成高校、増田高校との統合について検討することとしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

総合整備計画で統合等再編の対象となっており、設置場所も未定であることから、校舎の使用年数も未定である。

4 管理上の課題等

建築後、40年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

第7次高等学校総合整備計画における整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6 管理に関する実施計画

雄物川高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	電気設備改修	2,711	
R1	ボイラー更新(実施設計)	808	
R2	ボイラー更新(工事)	18,805	
R3	教室等女子トイレ洋式便器取替修繕	1,408	
R4	地下タンク改修	5,482	
R4	消防設備更新(設計)	671	
	(合 計)	29,885	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,127	1,055	394	
運用コスト	10,337	10,873	9,195	
修繕コスト	0	0	691	
その他	0	0	0	
(合計)	11,464	11,928	10,280	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	374	358	353	

46	施設名	増田高等学校
----	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	増田高等学校	所在地	横手市増田町増田字一本柳
施設面積	14,417.46 m ²	建設年	昭和48年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	475,782,025 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	集約化（主）を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、平成高校、雄物川高校との統合について検討を行う。
校舎の設置場所については、地元と協議の上、地域の実情などを考慮して決定する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）において、平成高校、雄物川高校との統合について検討することとしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

総合整備計画で統合等再編の対象となっており、設置場所も未定であることから、校舎の使用年数も未定である。

4 管理上の課題等

建築後、50年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

第7次高等学校総合整備計画における整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6 管理に関する実施計画

増田高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	電気室キュービクル更新	3,781	
R2	女子トイレ洋式化修繕	1,878	
R2	産振棟屋根塗装	2,930	
R3	第二体育館消火管漏水修繕	666	
R3	ガラス温室解体	3,909	
R4	高圧気中開閉器交換修繕	858	
R4	校長室エアコン配管等修繕	558	
R4	実習棟屋根塗装	12,830	
R4	高圧ケーブル更新	5,825	
R5	地下タンク改修	4,501	
R5	防火扉等修繕	3,746	
R5	外壁剥離修繕	550	
R5	防火シャッター修繕	1,444	
R6	校舎躯体調査	990	
R6	防火シャッター取替修繕	1,580	
	(合 計)	46,046	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,003	913	736	
運用コスト	12,191	13,061	10,522	
修繕コスト	12,532	0	900	
その他	0	0	0	
(合計)	25,726	13,974	12,158	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	509	485	484	

47	施設名	湯沢高等学校
----	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	湯沢高等学校	所在地	湯沢市字新町
施設面積	9,009.63 m ²	建設年	昭和49年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	412,426,003 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	建替え又は大規模修繕
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学の中核校として、建替え又は大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はなく、地区の進学の中心校と位置づけている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

築40年以上を経過し、建物全体の老朽化が著しいことから、建替えを行う。

4 管理上の課題等

耐震補強工事は終えており安全性に問題はないが、建物の老朽化が著しいことから、建替えが必要である。

5 管理に関する実施方針

老朽化が著しいため、今後、整備構想策定後に実施を検討するが、維持管理に係る修繕は実施する。

6 管理に関する実施計画

湯沢高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	エアコン電源修繕	3,949	
R2	消防設備修繕	1,701	
R2	非常放送設備修繕	1,222	
R2	共励館軒天、破風修繕	704	
	R3-R5 基本・実施設計（改築事業）	276,876	
R3	トイレ洋式化及び自動水栓設置修繕	7,887	
R3	防火シャッター修繕	2,013	
R4	サッカー場防球ネット修繕	1,760	
R5	自動火災報知設備修繕	1,250	
R5	施設整備（改築事業）	173,880	
R6	施設整備（改築事業）	455,715	
R7	施設整備（改築事業）	1,407,049	
	（ 合 計 ）	919,381	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	596	679	614	
運用コスト	14,569	13,758	12,263	
修繕コスト	29,737	3,677	1,318	
その他	0	0	0	
（合計）	44,902	18,114	14,195	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	731	730	697	

48	施設名	旧湯沢高等学校稲川分校 体育館
----	-----	-----------------

1 施設の概要

施設名称	旧湯沢高等学校稲川分校 体育館	所在地	湯沢市稲庭町字大森
施設面積	660.05 m ²	建設年	昭和61年
構造・階数	鉄骨1階	台帳価格	22,791,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果		
基本的な方針	廃止	除却処分を実施
「基本的な方針の考え方」 ・当施設は平成29年度末に閉校している。 ・施設は昭和60年代に建築され老朽化が激しく、転用等は難しい。 ・そのため、維持管理コストの低減や倒壊等のリスク除去のため、早期に解体を行う。		

3 目標使用年数 【解体時期未定】

・老朽施設で耐震性の面から他用途への利用は難しいため、倒壊等のリスク除去のため解体を検討する。

4 管理上の課題等

・当施設は湯沢高校が定期的な見回り等で維持管理を行っているが、無人施設であるため、施設の防犯・保安上の課題がある。

5 管理に関する実施方針

・定期的な見回り・点検等により損傷・破損箇所の有無や劣化状況を把握し、売却・譲渡や解体まで必要な修繕措置等を行う。

6 管理に関する実施計画

旧湯沢高等学校稲川分校体育館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R4	渡り廊下解体	2,420	
	(合 計)	2,420	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	-	-	-	
運用コスト	-	-	-	
修繕コスト	-	-	-	
その他	-	-	-	
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	-	-	-	

49	施設名	湯沢翔北高等学校
----	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	湯沢翔北高等学校	所在地	湯沢市湯ノ原
施設面積	15,606.85 m ²	建設年	平成23年
構造・階数	R C造6階	台帳価格	1,574,927,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）では、近隣校との統合等の予定はなく、建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、近隣校との統合等の予定はない。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕が必要となる。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

湯沢翔北高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	エアコン電源工事	1,859	
R2	エアコン設置工事	14,300	
R2	エアコン設置工事	946	
R3	手洗い器自動水栓化修繕	1,364	
R3	トイレ洋式化修繕	4,455	
R5	第二体育館屋外階段屋根改修	4,617	
R6	武道場天井落下防止改修（設計）	538	
	（ 合 計 ）	5,155	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,365	1,404	1,387	
運用コスト	16,941	16,658	14,305	
修繕コスト	965	259	185	
その他	0	0	0	
（合計）	19,271	18,321	15,877	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	753	752	737	

50	施設名	湯沢翔北高等学校雄勝校
----	-----	-------------

1 施設の概要

施設名称	湯沢翔北高等学校雄勝校	所在地	湯沢市下院内字小白岩
施設面積	6,919.90 m ²	建設年	昭和53年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	186,928,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、少子化等による生徒数の減少から、1学年1学級規模の湯沢翔北高校の地域校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、少子化等による生徒数の減少から、1学年1学級規模の湯沢翔北高校の地域校にすることとしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、40年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・ 今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・ 躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

雄勝高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	体育館床改修	5,227	
R2	エアコン設置工事	1,562	
R3	トイレ洋式化修繕	5,390	
R5	防火設備修繕	2,186	
	(合 計)	14,365	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	919	657	424	
運用コスト	5,824	6,156	5,728	
修繕コスト	1,092	15,100	0	
その他	0	0	0	
(合計)	7,835	21,913	6,152	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	264	239	202	

51	施設名	羽後高等学校
----	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	羽後高等学校	所在地	雄勝郡羽後町字大戸
施設面積	7,099.21 m ²	建設年	昭和61年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	355,939,002 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）に基づき、中山間地域の生徒の通学や地区の教育・文化における役割等を考慮し存続する。

※ 集約・複合化の検討について

第七次高等学校総合整備計画（H28～R7）においては、存続等について具体的な構想案を後期計画に示すこととしている。

※ 公民連携の検討について

県立高校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立高校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。
躯体保護等のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

4 管理上の課題等

建築後、35年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

羽後高等学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	ボイラー更新(設計)	751	
R3	ボイラー更新(工事)	21,318	
R3	トイレ洋式化	4,851	
R4	体育館外壁修繕	1,628	
R4	職員公舎解体	3,354	
R4	武道場天井落下防止改修(設計)	576	
R6	武道場天井落下防止改修(工事)	20,427	
R7	地下タンク改修	11,291	
R7	体育館鉄骨ブレース改修(設計)	9,981	
	(合 計)	74,177	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	719	730	675	
運用コスト	6,457	5,869	4,844	
修繕コスト	0	0	670	
その他	0	0	0	
(合計)	7,176	6,599	6,189	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	303	286	259	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（「特別支援学校」）

1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

（対象施設）

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	視覚支援学校	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
2	聴覚支援学校	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
3	比内支援学校	大館市	存続	建替えを実施
4	比内支援学校たかのす校	北秋田市	存続	大規模修繕を実施
5	比内支援学校かつの校	鹿角市	存続	大規模修繕を実施
6	能代支援学校	能代市	存続	大規模修繕を実施
7	栗田支援学校	秋田市	存続	大規模修繕を実施
8	大曲支援学校	大仙市	存続	大規模修繕を実施
9	大曲支援学校せんぼく校	仙北市	存続	機能維持のための修繕を実施
10	横手支援学校	横手市	存続	大規模修繕を実施
11	稲川支援学校	湯沢市	存続	大規模修繕を実施
12	ゆり支援学校	由利本荘市	存続	大規模修繕を実施
13	天王みどり学園	潟上市	存続	大規模修繕を実施
14	秋田きらり支援学校	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施

2 施設管理に関する優先順位の方針

- ・大規模修繕については、危険度や老朽度等の優先順位を見定めながら進めていく。

1	施設名	視覚支援学校
---	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	視覚支援学校	所在地	秋田市南が丘
施設面積	3,167.34 m ²	建設年	平成22年
構造・階数	R C造2階	台帳価格	273,703,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 本県における唯一の視覚支援学校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立特別支援学校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕が必要となる。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

視覚支援学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	予定なし		
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	—	—	—	
運用コスト	—	—	—	
修繕コスト	—	—	—	
その他	—	—	—	
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	—	—	—	

※コスト、利用者等は秋田きらり支援学校に集約

2	施設名	聴覚支援学校
---	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	聴覚支援学校	所在地	秋田市南が丘
施設面積	3,395.09 m ²	建設年	平成22年
構造・階数	R C造2階	台帳価格	255,059,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 本県における唯一の聴覚支援学校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立特別支援学校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕が必要となる。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

聴覚支援学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	予定なし		
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	—	—	—	
運用コスト	—	—	—	
修繕コスト	—	—	—	
その他	—	—	—	
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	—	—	—	

※コスト、利用者等は秋田きらり支援学校に集約

3	施設名	比内支援学校
---	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	比内支援学校	所在地	大館市比内町達子字前田野
施設面積	8,375.24 m ²	建設年	令和元年
構造・階数	R C 造 2 階	台帳価格	1,608,165,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	建替えを実施

「基本的な方針の考え方」

大館地区の知的障害の特別支援学校として存続していく。建築から40年以上経過しており、建築当時と環境等が大きく変化しており、老朽化が著しく教育活動に支障が生じていることなどから、建替えを実施する。

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立特別支援学校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

老朽化が著しく教育活動に支障が生じていることなどから、建替えを実施する。

4 管理上の課題等

耐震補強工事は終えており、安全性に問題はないが、築40年以上経っており、教育活動に支障が生じている。

5 管理に関する実施方針

老朽化が著しく教育活動に支障が生じていることなどから、建替えを実施する。

6 管理に関する実施計画

比内支援学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(比内支援学校整備事業)		
	H28-H29 基本・実施設計	133,658	
H30	施設整備	401,468	
R1	施設整備	1,454,597	
R2	施設整備	381,828	
R2	寄宿舎石油給湯器設置修繕	1,998	
R3	引分幕カーテン取付修繕	825	
R3	施設整備	628,265	
R4	施設整備	281,534	
R5	施設整備	85,680	
R6	施設整備	40,818	
	(合 計)	3,410,671	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,131	1,374	1,073	
運用コスト	14,323	13,324	11,279	
修繕コスト	5,209	3,609	1,521	
その他	0	0	0	
(合計)	20,663	18,307	13,873	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	188	213	180	

4	施設名	比内支援学校たかのす校
---	-----	-------------

1 施設の概要

施設名称	比内支援学校たかのす校	所在地	北秋田市七日市字家向
施設面積	1,471.60 m ²	建設年	昭和63年
構造・階数	木造1階	台帳価格	35,087,003 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 北秋田地区における知的障害特別支援学校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立特別支援学校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、30年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。
 躯体保護等のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

比内支援学校たかのす校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	自動火災報知設備改修	3,471	
R4	たかのす校保健室棟屋根改修修繕	2,255	
R5	液面計修繕	550	
R5	エアコン電源修繕	1,592	
R7	校舎棟・体育館屋根・外壁等改修（設計）	7,647	
R7	地下タンク内面ライニング工事	10,340	
	(合 計)	25,855	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	528	472	481	
運用コスト	3,822	2,916	2,694	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	4,350	3,388	3,175	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	72	85	90	

5	施設名	比内支援学校かづの校
---	-----	------------

1 施設の概要

施設名称	比内支援学校かづの校	所在地	鹿角市花輪字案内
施設面積	1,542.48 m ²	建設年	昭和61年
構造・階数	木造1階	台帳価格	86,865,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 鹿角地区における知的障害特別支援学校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立特別支援学校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、35年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

比内支援学校かづの校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	224	158	158	
運用コスト	2,707	2,755	2,637	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	2,931	2,913	2,795	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	70	75	90	

6	施設名	能代支援学校
---	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	能代支援学校	所在地	能代市真壁地字トトメキ沢
施設面積	6,477.95 m ²	建設年	平成6年
構造・階数	R C造2階	台帳価格	772,606,007 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 能代地区における知的障害特別支援学校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立特別支援学校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、25年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。
 躯体保護等のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

能代支援学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	誘導灯改修、電気設備改修	6,920	
H30	校地内通路舗装	1,500	
H30	空調設備更新	140,764	R1に繰越
R2	電話設備修繕	923	
R2	厨房エアコン改修修繕	2,442	
R4	自動給水装置取替修繕	2,145	
R4	寄宿舎男子浴室洗場配管修繕	913	
R4	寄宿舎男子棟(居室1、2)天井隠蔽ファンコイルユニット修繕	605	
R4	火災受信機更新(設計)	673	
R5	火災受信機更新	19,153	
R6	高圧ケーブル交換修繕	9,968	
	(合 計)	186,006	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,415	1,504	1,525	
運用コスト	10,783	10,161	9,219	
修繕コスト	0	5,600	2,129	
その他	0	0	0	
(合計)	12,198	17,265	12,873	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	200	200	182	

7	施設名	栗田支援学校
---	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	栗田支援学校	所在地	秋田市新屋栗田町
施設面積	12,704.94 m ²	建設年	平成12年
構造・階数	R C造2階	台帳価格	1,191,173,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 秋田地区における知的障害特別支援学校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立特別支援学校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

小学部棟は地区40年以上経過したことから長寿命化と増築工事を実施する。また、高等部職業学科棟を本校舎敷地に新築する。既存校舎等(中・高等部棟、寄宿舎棟、体育館棟、厨房・食堂棟)についても、長寿命化の工事を実施する。

4 管理上の課題等

小学部棟については築40年以上経っていることや、高等部の教室が不足しているなど施設機能に不具合が生じている。

5 管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

栗田支援学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	ガス配管等改修	3,498	
H30	ブロック塀改修	42,723	R1に繰越
H30	空調設備更新	207,662	R1に繰越
R2	環境・福祉科棟エアコン電源修繕	1,465	
R2	小学部棟エアコン電源修繕	1,606	
R2	カーテン修繕	501	
	R3-R5 基本・実施設計（改築事業）	176,060	
R3	空冷チラー修繕	2,024	
R3	トイレ洋式化修繕	2,695	
R3	トイレ洋式化・自動水栓設置修繕	8,800	
R4	廊下吹抜手摺落下防止修繕	1,452	
R5	施設整備（改築事業）	162,374	
R6	施設整備（改築事業）	908,616	
R7	施設整備（改築事業）	135,729	
	（ 合 計 ）	1,655,205	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,448	1,235	1,165	
運用コスト	19,855	18,191	14,207	
修繕コスト	1,456	4,077	15,141	
その他	0	0	0	
（合計）	22,759	23,503	30,513	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	372	388	408	

8	施設名	大曲支援学校
---	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	大曲支援学校	所在地	大仙市大曲西根字下成沢
施設面積	7,332.15 m ²	建設年	平成4年
構造・階数	R C造2階	台帳価格	645,115,003 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 大仙地区における知的障害特別支援学校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立特別支援学校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、30年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

大曲支援学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	空調設備更新	189,516	H31に繰越
R3	西側フェンス修繕	1,474	
R3	トイレ洋式化及び手洗い場自動水栓化修繕	11,660	
R4	調理室給湯設備修繕	990	
R4	校舎棟玄関屋根葺替修繕	957	
R5	照明器具交換修繕	990	
R6	空調温水循環ポンプ修繕	2,120	
	(合 計)	207,707	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,162	1,087	1,382	
運用コスト	13,798	11,523	10,834	
修繕コスト	1,742	0	27,458	
その他	0	0	0	
(合計)	16,702	12,610	39,674	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	281	271	272	

9	施設名	大曲支援学校せんぼく校
---	-----	-------------

1 施設の概要

施設名称	大曲支援学校せんぼく校	所在地	仙北市角館町小館77番地2
施設面積	1,702.62 m ²	建設年	平成28年
構造・階数	W造2階	台帳価格	213,864,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 仙北地区における知的障害特別支援学校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立特別支援学校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕が必要となる。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

視覚支援学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R3	手洗い場等自動水栓化修繕	1,144	
	(合 計)	1,144	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	—	—	—	
運用コスト	—	—	—	
修繕コスト	—	—	—	
その他	—	—	—	
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	—	—	—	

※コスト、利用者等は秋田きらり支援学校に集約

10	施設名	横手支援学校
----	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	横手支援学校	所在地	横手市赤坂字仁坂
施設面積	6,249.63 m ²	建設年	昭和54年
構造・階数	R C造2階	台帳価格	376,324,007 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 横手地区における知的障害特別支援学校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立特別支援学校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

小学部棟においては、建築後40年以上経過しており、今後、大規模修繕が必要である。高等学部棟においては、建築後25年以上経過しており、老朽箇所を中心に大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

横手支援学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	地下タンク改修	4,365	
R2	小中学部棟変圧器改修	1,384	
R2	エアコン電源修繕	2,332	
R3	トイレ洋式化及び自動水栓化修繕	10,362	
R3	トイレ洋式化修繕	2,082	
R5	高圧区分開閉器更新修繕	1,738	
R5	屋外給水管修繕	514	
	(合 計)	22,777	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	806	1,055	839	
運用コスト	6,116	6,026	5,788	
修繕コスト	0	2,439	25,852	
その他	0	0	0	
(合計)	6,922	9,520	32,479	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	169	157	167	

11	施設名	稲川支援学校
----	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	稲川支援学校	所在地	湯沢市駒形町字八面寺下谷地
施設面積	3,403.94 m ²	建設年	昭和56年
構造・階数	R C造2階	台帳価格	193,108,002 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 湯沢地区における知的障害特別支援学校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立特別支援学校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、40年以上経過しており、老朽化が著しいため大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

今後、大規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

稲川支援学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	地下タンク改修	8,080	
R2	昇降機設備修理	1,110	
R2	エアコン設置工事	2,134	
R3	自動水栓化修繕	1,947	
R4	高架水槽更新	11,042	
R5	高圧機中開閉器取替修繕	1,309	
R5	非常用発電機修繕	4,895	
R5	トイレ改修工事	1,452	
	(合 計)	31,969	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,103	873	836	
運用コスト	4,439	4,273	3,458	
修繕コスト	771	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	6,313	5,146	4,294	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	111	124	123	

12	施設名	ゆり支援学校
----	-----	--------

1 施設の概要

施設名称	ゆり支援学校	所在地	由利本荘市水林
施設面積	6,256.50 m ²	建設年	平成10年
構造・階数	R C造2階	台帳価格	957,019,003 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 由利本荘地区における知的障害特別支援学校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立特別支援学校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、20年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

ゆり支援学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	空調設備更新	180,591	R1に繰越
R2	浄化槽中継ポンプ交換修繕	631	
R2	真空温水ヒーター部品取替修繕	880	
R3	非常用発電機設備取替修理	4,950	
R3	トイレ改修・自動水栓取替修理	6,435	
R4	浄化槽ばっ気ブロワNo.2取替修繕	600	
R4	印刷室間仕切り撤去修繕	616	
R4	紙工室間仕切り設置改修	539	
R4	自動火災報知設備更新	37,864	
R5	体育館暖房修繕	880	
R5	污水管等修繕	934	
R5	照明器具交換修繕	862	
R6	非常放送設備更新	2,486	
	(合 計)	238,268	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,427	1,699	1,690	
運用コスト	11,015	10,727	10,446	
修繕コスト	139	1,410	626	
その他	0	0	0	
(合計)	12,581	13,836	12,762	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	179	179	184	

13	施設名	天王みどり学園
----	-----	---------

1 施設の概要

施設名称	天王みどり学園	所在地	潟上市天王字追分西
施設面積	5,133.06 m ²	建設年	平成15年
構造・階数	R C造2階	台帳価格	741,500,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 男鹿・南秋地区における知的障害特別支援学校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立特別支援学校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、15年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。
 躯体保護等のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

天王みどり学園に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	エアコン電源等修繕	1,199	
R3	トイレ洋式化・自動水栓設置修繕	2,222	
R4	KHPエアコン修繕	611	
R4	空調設備改修（設計）	1,704	
R5	受信アンテナ設置修繕	517	
R6	空調設備改修（工事）	41,289	
	（ 合 計 ）	43,510	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,045	1,021	1,690	
運用コスト	11,015	10,727	10,446	
修繕コスト	704	793	0	
その他	0	0	0	
（合計）	12,764	12,541	12,136	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	179	179	184	

14	施設名	秋田きらり支援学校
----	-----	-----------

1 施設の概要

施設名称	秋田きらり支援学校	所在地	秋田市南が丘
施設面積	11,501.51 m ²	建設年	平成22年
構造・階数	R C造2階	台帳価格	1,194,139,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 本県における唯一の肢体不自由支援学校として存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

県立特別支援学校という施設の性質上、公民連携にはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

県立特別支援学校の機能に特化した施設のため、民間等に譲渡できる可能性はきわめて低い。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕が必要となる。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

秋田きらり支援学校に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	外構整備	3,964	
R2	構内路面標示修繕	1,017	
R2	誘導灯交換修繕	1,408	
R2	寄宿舎ガス給湯器交換修繕	732	
R2	教室床暖房及び周辺フローリング修繕	726	
R2	ガラス窓網戸修繕	868	
R2	高圧気中開閉器交換修繕	630	
R3	GHP室外機定期メンテナンス	536	
R3	各棟ガス給湯器修繕	660	
R3	食堂棟GHPエアコン修繕	2,024	
R4	厨房ガス給湯器修繕	697	
R4	寄宿舎棟GHPエアコン修繕	2,024	
R4	寄宿舎棟GHPエアコン修繕	1,386	
R4	避難口誘導灯器具修繕	847	
R4	厨房食器洗浄機ガスパースター修繕	1,216	
R5	GHP修繕	3,883	
R5	真空冷却器修繕	660	
R5	トップライトシーリング修繕	1,606	
R5	中央監視盤修繕	825	
R6	GHP修繕	1,147	
	(合 計)	26,856	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	8,083	9,112	8,404	
運用コスト	37,993	37,205	34,314	
修繕コスト	1,200	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	47,276	46,317	42,718	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	462	437	437	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（「教育機関」）

1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

(対象施設)

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	総合教育センター	潟上市	存続	大規模修繕を実施
2	自然体験活動センター	八峰町	存続	大規模修繕を実施
3	青少年交流センター	秋田市	存続	大規模修繕を実施
4	県立美術館	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
5	近代美術館	横手市	存続	大規模修繕を実施
6	博物館	秋田市	存続	大規模修繕を実施
7	奈良家	秋田市	存続	大規模修繕を実施
8	埋蔵文化財センター	大仙市	存続	大規模修繕を実施
9	農業科学館	大仙市	存続	大規模修繕を実施
10	図書館・公文書館	秋田市	存続	大規模修繕を実施
11	あきた文学資料館	秋田市	存続	機能維持のための修繕を実施
12	生涯学習センター	秋田市	存続	大規模修繕を実施
13	大館少年自然の家	大館市	存続	大規模修繕を実施
14	保呂羽山少年自然の家	横手市	存続	大規模修繕を実施
15	岩城少年自然の家	由利本荘市	存続	大規模修繕を実施

2 施設管理に関する優先順位の方針

- ・大規模修繕については、危険度や老朽度等の優先順位を見定めながら進めていく。

1	施設名	総合教育センター
---	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	総合教育センター	所在地	潟上市天王字追分西
施設面積	14,861.00 m ²	建設年	平成7年
構造・階数	R C 造 4 階	台帳価格	2,644,242,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・本県における教職員の研修施設として大きな役割を果たしており、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡は検討していない。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、25年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

総合教育センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H28	周回路舗装修繕他一式	810	
H29	宿泊棟照明設備修繕他一式	2,134	
H30	空調設備改修等	68,460	
R1	排煙装置修繕他一式	4,263	
R2	直流電源装置更新	16,359	
R3	集中監視装置更新	13,527	
R4	非常用放送設備改修工事	25,116	
R3	共用棟循環濾過装置逆流装置修繕	594	
R3	オイルタンク回り機器更新修繕	699	
R4	体育館底漏水修繕	770	
R4	保健室エアコン交換修繕	990	
R5	消防設備改修	40,028	
R6	外壁診断	2,122	
	(合 計)	175,872	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	44,039	44,139	45,283	
運用コスト	21,653	23,612	18,348	
修繕コスト	0	2,630	14,398	
その他	0	0	0	
(合計)	65,692	70,381	78,029	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	100	100	110	

2	施設名	自然体験活動センター
---	-----	------------

1 施設の概要

施設名称	自然体験活動センター	所在地	山本郡八峰町八森字御所の台
施設面積	2,660.08 m ²	建設年	平成19年
構造・階数	R C造2階	台帳価格	252,631,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・自然体験活動の機会を提供し、青少年の心身の健全な発達と県民の生涯学習の振興に資する施設として位置づけられている。 ・建設年が新しく、一定の利用者数も見込まれることから、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

八峰町を指定管理者としており、公民連携については検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

八峰町へ譲渡する可能性について、今後検討していく。

※ 市町村協働の検討について

現在も八峰町を指定管理者としており、隣接するはたはた館と一体的な運営をしている。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

立地上、塩害の被害が見込まれることから、建物の維持・管理に注意が必要である。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

自然体験活動センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	誘導灯修繕	605	
R2	非常照明蓄電池交換修繕及び誘導灯修繕	967	
R3	非常照明蓄電池交換修繕	589	
R4	エレベーター修繕	536	
R6	照明設備LED化(設計・監理)	708	
R6	照明設備LED化(工事)	23,100	
R6	冷温水発生器基盤類交換修繕	1,155	
R6	エレベーター制御盤更新修繕	538	
	(合 計)	28,198	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	3,567	3,796	3,638	
運用コスト	5,465	5,401	4,286	
修繕コスト	0	2,630	14,398	
その他	0	0	0	
(合計)	9,032	11,827	22,322	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	15,196	14,879	14,901	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	11,353	10,114	9,900	

3	施設名	青少年交流センター
---	-----	-----------

1 施設の概要

施設名称	青少年交流センター	所在地	秋田市寺内神屋敷
施設面積	8,452.60 m ²	建設年	平成11年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	1,668,506,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・ 青少年に対する研修と青少年の交流・学習機会の提供等を行う施設として位置づけられている。 ・ 建設年が比較的新しく、一定の利用者数も見込まれることから、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

現在、（一財）秋田県青年会館を指定管理者としている。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

立地上、塩害の被害が見込まれることから、建物の維持・管理に注意が必要である。

5 管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

青少年交流センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H28	冷却塔補給水配管修繕	1,722	
H28	宿泊棟4階及び多目的ホール器具庫上漏水修繕	2,376	
H29	冷却塔送風モーター交換修繕	648	
H30	屋上漏水修繕	2,484	
R1	給水ポンプユニット更新工事	1,591	
R1	防犯カメラ修繕	1,375	
R1	駐車場舗装修繕	15,754	
R4	宿泊棟トイレ温水洗浄便座取替修繕	1,034	
R4	研修棟トイレ洋式化修繕	1,815	
R4	床タイルカーペット交換工事	22,723	
R5	空調設備改修工事（設計）	3,850	
R6	空調設備改修工事	220,550	
R6	照明設備LED化（設計・監理）	708	
R6	照明設備LED化（工事）	71,429	
R6	受電設備機器更新修繕	1,573	
	（ 合 計 ）	349,632	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	19,563	18,434	18,742	
運用コスト	50,503	49,628	45,295	
修繕コスト	882	1,681	2,758	
その他	0	0	0	
（合計）	70,948	69,743	66,795	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	66,679	69,281	75,354	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	85,663	86,616	83,844	

4	施設名	県立美術館
---	-----	-------

1 施設の概要

施設名称	県立美術館	所在地	秋田市中通
施設面積	3,746.66 m ²	建設年	平成24年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	953,107,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・県民の美術に関する教養の向上に資するとともに、平野政吉美術財団が所有する藤田嗣治を中心とした美術作品の展示施設として位置づけられている。 ・建設年が新しく、一定の利用者数も見込まれることから、機能維持のための修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

現在、（公財）平野政吉美術財団を指定管理者としている。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建設年も新しいことから、機能維持のための修繕を実施しながら使用していく。

4 管理上の課題等

建設年も新しいことから、当面は機能維持のための修繕が必要になる。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

県立美術館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	県民ギャラリー等改修	79,839	
R2	エレベーター修繕	1,116	
R2	県立美術館監視カメラ交換修繕	510	
R2	水庭ろ材交換	1,131	
R3	HPC2-4ヒートポンプチラー修繕工事	897	
R4	2階カフェラウンジ水庭前ガラス下枠スチール修繕	550	
R4	水庭シーリング打替工事	1,265	
R4	県立美術館監視カメラ交換修繕	700	
R4	HPC2-4チラー四方弁交換修繕	748	
R4	HPC2-4チラーオーバーホール修繕	1,925	
R4	空調設備改修（設計）	1,510	
R5	空調設備改修（工事）	38,340	
R6	雨水排水ポンプ修繕	770	
R6	照明設備LED化（設計・監理）	1,398	
R6	照明設備LED化（工事）	27,203	
R6	チラー4号機基板交換修繕	581	
R6	チラー4号機センサー修繕	649	
	（ 合 計 ）	159,132	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	5,823	10,899	10,859	
運用コスト	24,220	27,522	23,351	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
（合計）	30,043	38,421	34,210	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	25,079	38,986	23,091	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	96,890	144,864	124,135	

5	施設名	近代美術館
---	-----	-------

1 施設の概要

施設名称	近代美術館	所在地	横手市赤坂字富ヶ沢
施設面積	11,166.50 m ²	建設年	平成5年
構造・階数	SRC造7階	台帳価格	3,158,981,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・県にゆかりのある作家の優れた美術作品を中心に収集・保管・展示し、併せて美術に関する調査研究及び普及活動を行う施設と位置づけられている。 ・一定の利用者数も見込まれることから、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、20年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。
 躯体保護等のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

近代美術館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H28	2回収蔵庫系統空調機(PAC-3)熱交換器交換修繕	699	
H28	地下1階守衛室、4階事務室監視カメラ用モニター機器修繕	1,998	
H29	冷却塔部品取替修繕非常放送設備落雷修繕(守衛室、事務室、中央監視室他)	2,473	
H29	3F収蔵庫空調機熱交換器(PAC-5・6・7)取替工事	527	
H29	冷却塔部品取替修繕	2,480	
H29	中央監視設備改修	34,625	
H29	企画展示室等改修	83,128	
H30	カーテンウォール部ガラス修繕	1,491	
R2	カーテンウォール部ガラス修繕	1,540	
R4	貨物用エレベーター更新	42,355	
R6	照明設備LED化(設計・監理)	1,398	
R6	照明設備LED化(工事)	55,176	
R6	熱源機器更新工事(設計)	3,853	
R7	熱源機器更新工事(工事)	239,900	
	(合 計)	471,643	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	56,445	57,559	57,559	
運用コスト	31,809	32,524	30,404	
修繕コスト	25,454	5,562	287	
その他	0	0	0	
(合計)	113,708	95,645	88,250	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	14,447	11,665	19,877	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	102,677	92,210	141,776	

6	施設名	博物館
---	-----	-----

1 施設の概要

施設名称	博物館	所在地	秋田市金足鳩崎字後山
施設面積	11,952.81 m ²	建設年	昭和49年
構造・階数	R C造3階	台帳価格	988,129,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・郷土の自然と人文に関する認識を深め、県民の学術及び文化の発展に寄与する、県内唯一の総合博物館と位置づけられている。 ・一定の利用者数も見込まれることから、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、40年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁タイルの改修周期は40年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

博物館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H28	排煙口交換修繕	1,724	
H29	消防設備不具合修繕	756	
H29	消防設備不具合修繕	778	
R3	空冷チラーオイル交換及び不具合修繕	1,166	
R3	米蔵屋根破損被害修繕	1,133	
R3	分館外塀突風破損被害修繕	1,980	
R4	日立灯油式ヒートポンプエアコン修繕(事務室)	1,496	
R4	空調設備改修(設計)	1,834	
R6	空調設備改修(工事)	68,226	
R6	照明設備LED化(設計・監理)	1,398	
R6	照明設備LED化(工事)	78,051	
R7	排煙口解放装置更新	13,743	
	(合 計)	172,285	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	11,279	11,203	11,250	
運用コスト	27,858	28,057	25,736	
修繕コスト	2,789	57,542	46,000	
その他	0	0	0	
(合計)	41,926	96,802	82,986	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	8,589	4,605	7,293	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	103,393	104,036	107,277	

7	施設名	奈良家
---	-----	-----

1 施設の概要

施設名称	奈良家	所在地	秋田市金足鳩崎字後山
施設面積	1,465.27 m ²	建設年	昭和44年
構造・階数	木造1階	台帳価格	10 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 国指定重要文化財であり、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【今後20年以上使用】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

現在のところ、維持管理上特に問題はないが、今後、老朽箇所の大規模修繕等が必要である。

5 管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。

6 管理に関する実施計画

奈良家に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R7	旧奈良家住宅耐震診断	14,685	構造調査・地盤調査等
	(合 計)	14,685	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	878	765	705	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	878	765	705	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	—	—	—	

※利用者数は博物館に含める

8	施設名	埋蔵文化財センター
---	-----	-----------

1 施設の概要

施設名称	埋蔵文化財センター	所在地	大仙市払田字牛嶋
施設面積	11,910.12 m ²	建設年	昭和56年
構造・階数	R C造2階	台帳価格	351,048,006 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 県唯一の埋蔵文化財調査機関として、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

- ・ 建築後、40年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。
- ・ 出土品の収蔵スペースに限りがあり、将来的に収蔵庫の増設を検討する必要がある。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

埋蔵文化財センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	給水設備改修	5,947	
R2	男鹿収蔵庫自動火災報知設備修繕	1,265	
R2	地下タンク改修	4,705	
R3	地下オイルタンクマンホール蓋・受枠改修	611	
R3	トイレ洋式化修繕	2,420	
R4	男鹿収蔵庫屋根防水改修工事	5,210	
R5	大規模盛土造成地変動予測調査(旧男鹿高校)	10,573	
R6	受変電設備改修(センター)	2,464	
R6	男鹿収蔵庫盛土改修工事詳細設計業務委託	8,448	
R6	男鹿収蔵庫盛土崩落対策工事	57,068	R7までの2カ年計画
R6	灯油タンク改修(中央調査チーム)	1,100	
	(合 計)	99,811	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,458	21,274	1,025	
運用コスト	2,507	3,540	2,345	
修繕コスト	0	0	902	
その他	0	0	0	
(合計)	3,965	24,814	4,272	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	7,709	8,691	11,261	

9	施設名	農業科学館
---	-----	-------

1 施設の概要

施設名称	農業科学館	所在地	大仙市内小友字中沢
施設面積	5,032.93 m ²	建設年	平成2年
構造・階数	R C 造 1 階	台帳価格	555,123,006 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・本県の農林業、農村生活の理解を深め、農林業に関する科学技術について学習の機会を提供する施設として位置づけられている。 ・一定の利用者数も見込まれることから、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、30年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根鉄板葺きの改修周期は30年、外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

農業科学館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R1	灌水ポンプ交換	686	
R2	非常放送設備修繕	5,683	
R2	屋根改修（設計）	888	
R2	非常用発電機 始動用バッテリー交換	610	
R2	高低圧進相コンデンサ取り替え（PCB疑い）	710	
R3	温室ボイラー修繕	1,403	
R3	屋根改修（工事）	73,059	
R4	灌水ポンプ更新	10,087	
	（ 合 計 ）	93,126	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	9,902	10,076	10,046	
運用コスト	11,826	10,794	7,933	
修繕コスト	22,000	10,598	895	
その他	0	0	0	
（合計）	43,728	31,468	18,874	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	72	85	62	貸館分

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	88,372	88,982	96,950	

10	施設名	図書館・公文書館
----	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	図書館・公文書館	所在地	秋田市山王新町
施設面積	12,445.73 m ²	建設年	平成5年
構造・階数	R C造4階	台帳価格	2,459,787,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・本県公立図書館の中心的な役割を担い、また唯一の県立図書館として位置づけられている。 ・一定の利用者数も見込まれることから、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、25年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

今後、定期的に大規模修繕を実施する。
 躯体保護等のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

図書館・公文書館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	直流電流設備改修	24,261	
R3	高圧ケーブル取替修繕	990	
R3	空調機（空冷チラー）修繕	600	
R4	熱源設備修繕	601	
R5	非常用発電機装置蓄電池充電装置交換修繕	753	
R5	室外機冷媒漏洩修繕	713	
R5	熱源設備（煤煙濃度計）修繕	675	
R5	照明器具改修（設計）	3,000	
R6	1階スロープ前防火シャッター修繕	1,175	
R6	エレベーター2号機修繕	979	
R6	トイレ自動ドア修繕	1,962	
R6	受変電設備工事	7,185	
R6	空冷式ヒートポンプチラー修繕	1,500	
R6	照明器具改修工事（設計監理含む）	20,570	
R7	照明器具改修工事（設計監理含む）	16,224	
	（ 合 計 ）	81,188	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	27,755	28,692	27,508	
運用コスト	42,255	47,377	43,425	
修繕コスト	945	5,549	22,637	
その他	0	0	0	
（合計）	70,955	81,618	93,570	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	450,106	438,108	421,547	

11	施設名	あきた文学資料館
----	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	あきた文学資料館	所在地	秋田市中通
施設面積	874.81 m ²	建設年	平成6年
構造・階数	R C 造 2 階	台帳価格	102,123,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・秋田にゆかりのある作家の資料等を収集・保存・公開し、併せて県民の多彩な文学活動の拠点として位置づけられている。 ・一定の利用者数も見込まれることから、機能維持のための修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

県立図書館と集約化できる可能性があるか、今後検討する。

※ 公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

機能維持のための修繕を実施しながら使用するが、大規模修繕が必要となった場合、県立図書館を含めた他の県有施設と集約化できる可能性があるか検討する。

4 管理上の課題等

現在のところ、維持管理上特に問題はないため、当面は機能維持のための修繕が必要となる。

5 管理に関する実施方針

当面は大規模修繕を予定しないが、維持管理に係る修繕は定期的に行う。

6 管理に関する実施計画

あきた文学資料館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R3	女子トイレ和洋リモデル改修工事	831	
	(合 計)	831	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,078	1,029	996	
運用コスト	1,686	1,746	1,659	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	2,764	2,775	2,655	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	7,692	7,201	6,922	

12	施設名	生涯学習センター
----	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	生涯学習センター	所在地	秋田市山王中島町
施設面積	6,299.60 m ²	建設年	昭和55年
構造・階数	R C造5階	台帳価格	340,083,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・生涯学習に関する調査研究を行うとともに、県民に学習の機会を提供し、生涯学習の振興を図る施設として位置づけられている。 ・一定の利用者数も見込まれることから、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

将来的な建替えの際、近隣の県有施設との集約化について検討する。

※ 公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用するが、老朽化が進んでいることから、将来的な建替えも視野に入れることとする。

4 管理上の課題等

建築後、40年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水の改修周期は20年、外壁タイルの改修周期は40年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

生涯学習センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	煙突断熱材改修	23,233	
H30	事業室照明器具修繕	643	
H30	視聴覚室空調設備改修	9,729	
R1	路面アスファルト補修修繕	792	
R1	ボイラー更新	25,884	
R2	照明設備改修	21,064	R4までの3カ年計画
R3	照明設備改修	17,377	
R4	1階非常用出入口改修修繕	1,210	
R4	照明設備改修	20,129	
R5	外壁診断	1,266	
R5	5階和室空調機改修	1,320	
R5	緊急外壁改修（C階段南側）	13,123	
R6	バリアフリースイレ自動ドア修繕	1,333	
R6	トップライト雨漏り修繕	1,705	
R7	高圧受変電設備継電器交換修繕	971	
	(合 計)	139,779	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	16,411	16,411	16,398	
運用コスト	19,435	18,994	17,160	
修繕コスト	1,827	7,000	49	
その他	0	0	0	
(合計)	37,673	42,405	33,607	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	2,950	2,902	3,026	使用料（貸館）
〃	1,450	1,465	1,368	スマートカレッジ 受講料

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	103,457	109,327	114,608	

13	施設名	大館少年自然の家
----	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	大館少年自然の家	所在地	大館市東字岩神沢
施設面積	3,244.61 m ²	建設年	昭和49年
構造・階数	R C造2階	台帳価格	121,583,004 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・自然の中で宿泊その他の活動を集団で行うことにより、心身ともに健全な少年を育成するとともに、県民の生涯学習の振興に資する施設と位置づけられている。 ・県北地区における少年自然の家として、一定の利用者数も見込まれることから、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、45年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

大館少年自然の家に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H28	キャンプ場木製柱腐食部補強修繕	713	
H28	屋内キュービクル改修	5,916	
H29	煙突断熱材改修	17,994	
H30	法面崩壊修繕	2,128	
H30	車庫外壁修繕	986	
H30	玄関風除室周辺改修	8,718	
R1	トイレ洋式化	7,400	
R3	揚水ポンプ制御盤等修繕	523	
R4	防火扉不良箇所修繕	2,421	
R5	浴室棟屋上防水改修	5,422	
R6	照明設備LED化(設計・監理)	708	
R6	照明設備LED化(工事)	24,618	
	(合 計)	77,547	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,391	2,543	2,072	
運用コスト	3,628	3,686	3,228	
修繕コスト	0	0	129	
その他	0	0	0	
(合計)	6,019	6,229	5,429	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	163	141	H26以降は一般利用者分の収入

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	26,483	26,080	25,735	

14	施設名	保呂羽山少年自然の家
----	-----	------------

1 施設の概要

施設名称	保呂羽山少年自然の家	所在地	横手市大森町八沢木字大木屋
施設面積	3,332.69 m ²	建設年	昭和53年
構造・階数	R C造2階	台帳価格	138,088,004 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・自然の中で宿泊その他の活動を集団で行うことにより、心身ともに健全な少年を育成するとともに、県民の生涯学習の振興に資する施設と位置づけられている。 ・県南地区における少年自然の家として、一定の利用者数も見込まれることから、大規模修繕を実施しながら存続する。		

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、40年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

保呂羽山少年自然の家に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	地下タンク改修、煙突断熱材改修	17,728	
H29	風呂給湯修繕	1,540	
H30	車庫屋根修繕	832	
H30	外壁改修等	4,016	
R1	宿泊棟屋根修繕	573	
R3	受水槽送水ポンプ修繕	1,650	
R3	トイレ洋式化改修	5,940	
R4	受電設備修繕	2,255	
R4	防火シャッター修繕	1,815	
R4	浄化槽修繕（原水ポンプ外）	792	
R4	屋根・外壁改修（設計）	1,245	
R6	照明設備LED化（設計・監理）	708	
R6	照明設備LED化（工事）	24,376	
	（ 合 計 ）	63,470	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,588	2,645	2,574	
運用コスト	3,447	3,595	3,172	
修繕コスト	654	86	626	
その他				
（合計）	6,689	6,326	6,372	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	130	118	H26以降は一般利用者分の収入

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	17,321	17,790	17,932	

15	施設名	岩城少年自然の家
----	-----	----------

1 施設の概要

施設名称	岩城少年自然の家	所在地	由利本荘市岩城赤平字長ヶ沢
施設面積	4,805.00 m ²	建設年	昭和58年
構造・階数	R C造1階	台帳価格	289,430,002 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

- ・自然の中で宿泊その他の活動を集団で行うことにより、心身ともに健全な少年を育成するとともに、県民の生涯学習の振興に資する施設と位置づけられている。
- ・中央地区における少年自然の家として、一定の利用者数も見込まれることから、大規模修繕を実施しながら存続する。

※ 集約・複合化の検討について

集約・複合化についての検討は行っていない。

※ 公民連携の検討について

公民連携については検討していない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

民間等への譲渡の検討は行っていない。

※ 市町村協働の検討について

市町村有施設との集約・複合化の検討は行っていない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建築・設備等の大規模修繕を実施し、機能維持を図り使用する。

4 管理上の課題等

建築後、35年以上経過しており、今後、老朽箇所の大規模修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・今後、定期的に大規模修繕を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

岩城少年自然の家に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	宿泊棟給排水設備等改修	6,449	
H30	高圧気中開閉器取替修繕	1,361	
R3	キャンプセンター前外灯取替修繕	931	
R3	トイレ洋式化修繕	8,415	
R4	地下タンク改修	5,678	R5に繰越
R4	受変電設備・自家発電改修工事、空調設備改修工事（設計）	3,334	
R5	空調設備改修（工事）	13,361	
R6	照明設備LED化（設計・監理）	708	
R6	照明設備LED化（工事）	44,880	
	（ 合 計 ）	85,117	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	4,167	4,341	3,814	
運用コスト	5,305	5,922	5,363	
修繕コスト				
その他				
（合計）	9,472	10,263	9,177	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	515	506	H26以降は一般利用者分の収入

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	23,238	22,840	25,854	